

ブル・ドーザ 検査・整備基準値表



社団法人

建設荷役車両安全技術協会

まえがき

車両系建設機械を有効に稼働させ、常に安全な状態に維持するためには、適正な定期自主検査と整備作業がなされなければなりません。

そのためには、チェック結果の良否の判断の基、及び整備作業の基となる基準が常に利用できる状態であることが大切で、各機械の検査・整備基準が業界に広く開示される必要があるとの観点から、平成10年から「検査・整備基準値表」を作成して検査・整備業界に提供し、今般改訂第2版を発行することとしました。

「検査・整備基準値表」の編集にあたっては、当協会の公益性に鑑み、国内で販売されている対象機種の商品を網羅することを基本方針として努力してまいりましたが、幸いにも大方のメーカーの賛同を得て、ここに代表機種の「検査・整備基準値」を出版する運びとなりました。

当協会の趣旨にご賛同くださり、編集員の派遣、原稿の提供等に快く応じてくださった各メーカー及び関連各位と当協会検査・整備技術委員会委員各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成16年3月

(社) 建設荷役車両安全技術協会
会 長 高 田 浩 之

ブル・ドーザーの整備基準値表の作成にご尽力いただいた方は次のとおりです。

委 員	田 河 拓 治	日立建機（株）
〃	山 田 正 士	コマツ
〃	高 田 邦 廣	新キャタピラー三菱（株）

事務局	下 田 昇	（社）建設荷役車両安全技術協会
〃	岡 村 重 芳	〃
〃	福 塚 晃	〃
〃	木 野 茂 保	〃

検査・整備基準値表の利用上の留意事項

1. 「基準値表」の表示

- (1) 「基準値表」の表示はメーカーごとに一括りにしてあります。
- (2) 同一メーカー内の表示は概ねミニ、小型、中型の3サイズに分類してあり、各サイズの巻末に検査の際の機械姿勢を図形表示してあります。
- (3) 各ページは、機械のサイズごとに2ページ分の見開きで表示してあります。
左ページの左端に項目を表記し、同サイズの機械のモデル数が多くて収まりきれない場合には2ページの見開き単位で追加してあります。機械サイズごとに見開きに余白が出来ても、新モデルの追加記入を考慮して余白のままに残してあります。
- (4) 同一製品がOEM供給元とOEM供給先の双方で並行販売されている場合には、供給元と供給先の双方のモデル名でそれぞれに掲載してあります。

2. 収録モデルの範囲

(1) 時期的な収録範囲

この「検査・整備基準値表」は、平成15年6月末現在に日本国内において製造又は販売されているモデルに限定して、収録してあります。

この時点で製造又は販売を打ち切られているモデル、又はこの時点以降に新規に製造又は販売されたモデルは含んでおりません。

(2) モデルサイズの収録範囲

この「検査・整備基準値表」には、日本国内市場で主要部分を占める、ミニ建機、小型建機、中型建機までを収録してあります。

3. 「検査・整備基準値表」の項目の選定

(1) 「メーカーの定める基準値」と表記してある項目

定期自主検査指針（平成5年12月付け公示16号）において「メーカーの定める基準値」と表記してある項目を収録してその基準値を数値で表示することを原則としていますが、追加収録する項目の選定及び基準値の表記方法等はメーカーの自主判断に委ねてあります。

(2) 「新車基準値」の表記

「新車のみに適用される基準値」であることを特に表示する場合には、当該基準値の左肩上に*を付し、表の脚注に「新車基準値」である旨を表記してあります。

(3) 「単位」の表記

表内の単位の表記は、国際単位系である「SI基本単位」を使用してあります。

〔付表〕 S I 単位に係わる計量単位の関連分抜粋

物象の状態の量	計量単位 (記号)	物象の状態の量	計量単位 (記号)
1 長 さ	(m)	10 速 さ	(m/s)
2 質 量	(kg)、(g)、(t)	11 周 波 数	(Hz)
3 時 間	(s)、(min)、(h)	12 回転速度	(s ⁻¹)、(min ⁻¹)、(h ⁻¹)
4 電 流	(A)	13 力	(N)
5 温 度	(K)、(°C)	14 圧 力	(Pa)、(N/m ²) ※1
6 光 度	(cd)	15 仕 事	(J)
7 角 度	(rad)、(°)、(′)、(″)	16 電 圧	(V)
8 面 積	(m ²)	17 電気抵抗	(Ω)
9 体 積	(m ³)	18 電 力	(W)

表※1 圧力の換算表

	Pa	bar	kgf/cm ²
圧 力	1	1×10 ⁻⁵	1.01972×10 ⁻⁶
	1×10 ⁵	1	1.01972
	9.80665×10 ⁴	9.80665×10 ⁻¹	1
	1.01325×10 ⁵	1.01325	1.03323

表※2 仕事率、工率の換算表

	kW	PS	kgf・m/s
仕 事 率 ・ 工 率	1	1.35962	1.01972×10 ⁻⁷
	7.355×10 ⁻¹	1	7.5×10
	9.80665×10 ⁻³	1.33333×10 ⁻²	1
	1.16279×10 ⁻³	1.50895×10 ⁻³	1.18572×10 ⁻¹

(注) 1 W=1 J/s

1 PS=0.7335 kW

1 cal=4.18605

ブル・ドーザー検査・整備基準値表

目 次

コマツ	D 2 0 A-7 ~	2
新キャタピラー三菱（株）	B D 2 J ~	4 2
日立建機（株）	D X 4 0 ~	6 2

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D20A-7	D20P-7A	D20PL-7	D20PLL-7	D20A-7
		仕 様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	62001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検 査 基 準 値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)
		エンジン油圧 (油 温) (回 転 速 度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)
		弁 す き 間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回 転 速 度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)
	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [N] [kg]	10～15 [98] [10]	10～15 [98] [10]	10～15 [98] [10]	10～15 [98] [10]	10～15 [98] [10]
動 力 伝 達 装 置	主クラッチ ペダ ル	ペダル取り付け高さ	cm	18	18	18	18	18
		ペダルの遊びのストローク	cm	1.0～3.3	1.0～3.3	1.0～3.3	1.0～3.3	1.0～3.3
		ペダルの全ストローク	cm	17.6～18.6	17.6～18.6	17.6～18.6	17.6～18.6	17.6～18.6
	主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21	1765～2059 18～21
	ダイレクト シフト型		KPa kg/cm ²					
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	981 10	981 10	981 10	981 10	981 10
			KPa kg/cm ²					
ス テ ア リ ン グ 装 置	(ミッション油温) (エンジン回転速度)		(℃) (min ⁻¹)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35
	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 20.0～27.4
ス テ ア リ ン グ 装 置	ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		KPa kg/cm ² (℃)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)	1961～2255 20～23 (40～60)

D20F-7								
2本レバーパワー アングル・チルト								
75001～								
検 査 基 準 値								
2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)								
294～392 3～4 (80～110) (2560)								
0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]								
3432±98 35±1 (69～72) (250)								
21574～22555 220～230								
10～15 [10] [98]								
18 1.0～3.3 17.6～18.6								
1765～2059 18～21								
981 10								
(2560) (40～60)								
3.5±0.35 34.3±3.4								
— 20.0～27.4								
1961～2255 20～23 (40～60)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D20A-7	D20P-7A	D20PL-7	D20PLL-7	D20A-7
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	62001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		シ ン ユ ー リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
	作業機 速度		mm					
			mm					
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
		ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
油圧装置	油圧回路 設定圧力		sec					
			sec					
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa	15200～15887	15200～15887	15200～15887	15200～15887	15200～15887
			kg/cm ²	155～162	155～162	155～162	155～162	155～162
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D20P-7								
2本レバーパワー アングル・チルト								
75001～								
検 査 基 準 値								
15～20 〔 ① 〕								
20～30 〔 ② 〕								
138.25 (135.25) 〔 ③ 〕								
〔 ③ 〕								
— 〔 — 〕								
100 〔 ④ 〕								
50 〔 ④ 〕								
〔 — 〕								
(40～60)								
1.8 〔 ⑤ 〕								
〔 — 〕								
(40～60)								
15200～15887 155～162 (40～60)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D21A-7	D21P-7A	D21PL-7	D21A-7	D21P-7A
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	75001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ー ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)	2560±50 825±25 — (69～72) (40～60)
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)	294～392 3～4 (80～110) (2560)
		弁すき間 吸気弁すき間 排気弁すき間 [測定条件]	mm mm []	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]	0.2±0.05 0.2±0.05 [常温]
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)	3432±98 35±1 (69～72) (250)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230	21574～22555 220～230
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [kg] [N]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]	10～15 [10] [98]
	主クラッチ ペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3	10.3～11.3
動 力 伝 達 装 置	主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa kg/cm ²					
	ダイレクト シフト型		KPa kg/cm ²					
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	294 3	294 3	294 3	294 3	294 3
			KPa kg/cm ²	2599～2795 26.5～28.5	2599～2795 26.5～28.5	2599～2795 26.5～28.5	2599～2795 26.5～28.5	2599～2795 26.5～28.5
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)
ス テ ア リ ン グ 装 置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35	34.3±3.4 3.5±0.35
	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 6.2～7.0	— 20.0～27.4	— 20.0～27.4
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	2599～2795 26.5～28.5 (40～60)	2599～2795 26.5～28.5 (40～60)	2599～2795 26.5～28.5 (40～60)	2599～2795 26.5～28.5 (40～60)	2599～2795 26.5～28.5 (40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

[illegible]

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D21A-7	D21P-7A	D21PL-7	D21A-7	D21P-7A
		仕様		モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	モノレバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト	2本レバーパワー アングル・チルト
		適用号機		75001～	75001～	62001～	75001～	75001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕	15～20 〔①〕
		鉄 シ ユ ー 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕	138.25 (135.25) 〔③〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ	停止状態保持性能	床面勾配	—	—	—	—	—
	走行ブレーキ	制御能力 〔測定方法・条件〕	1/5 以上	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
作業装置	シリンダ	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕	50 〔④〕
		リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
	自然伸縮		mm					
			mm					
	作業機速度	(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
		ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕	1.8 〔⑤〕
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
			sec					
			sec					
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa	15200～15887	15200～15887	15200～15887	15200～15887	15200～15887
		(作動油温)	kg/cm ² (℃)	155～162 (40～60)	155～162 (40～60)	155～162 (40～60)	155～162 (40～60)	155～162 (40～60)

モデル名

D20A-7

D20P-7A

D20PL-7

D20PLL-7

D20A-7

①

■ 点 検

▲ 警 告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面とトラックシューのローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

点検姿勢

②

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

20～30mm

③

オイル封入履帯

シングルシュー

湿地シュー

③

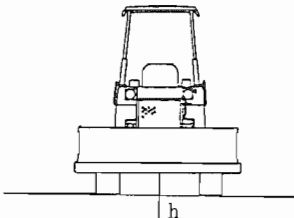
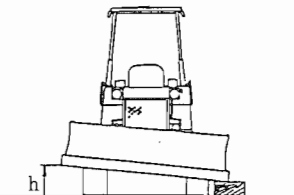
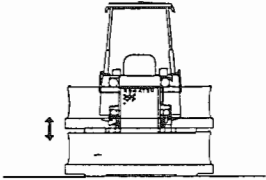
乾式履帯

シングルシュー

湿地シュー

No.	項 目	判 定 基 準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締角: 90±10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8Nm (7±1kgm). 増締角:180±10°	

No.	項 目	判 定 基 準	
1	リンクピッチ	基本寸法	許容限度
		135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期:68.6±9.8 Nm (7±1kgm). 増締角:90±10°	

D20P-7	D21A-7	D21P-7A	D21PL-7	D21A-7	D21P-7A			
項 目	測 定 条 件	単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値			
			D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7		
④ ブ レ ード	 ★ブレード地上から 300mm	mm	100		100			
ブレードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっぱいにする。 ・上記の姿勢からブレードの降下量hを測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。		50		50			
⑤ ブ レ ード (PAT 車)	リフト	上 げ	1.8		1.8			
・接 地 ↑↓ 上昇順		秒						

コ マ ッ

適用範囲		モデル名		D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20	
		仕様		トレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	
		適用号機		42714～	47617～	47617～	47617～	47617～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	
		エンジン油圧 (油 温) (回 転 速 度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	
		弁 す き 間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	
		圧縮圧力 (冷却水温) (回 転 速 度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	
		燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	17162 175	17162 175	17162 175	17162 175	17162 175
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm N kg	〔 — 〕	〔 — 〕	〔 — 〕	〔 — 〕	〔 — 〕	
	動力伝達装置	インチャング ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—	—	—	—
			ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm	— 10.3～11.3	— 10.3～11.3	— 10.3～11.3	— 10.3～11.3	— 10.3～11.3
		トランスミッション		KPa kg/cm ²					
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	294 3	294 3	294 3	294 3	294 3
クラッチ油圧			KPa kg/cm ²	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	
(ミッション油温) (エンジン回転速度)			(℃) (min ⁻¹)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	
プロペラシャフト		ボルト締付けトルク	N・m kgm	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	
ステアリング装置	レバ ー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	
	ステアリングクラッチ油圧 (油 温)		KPa kg/cm ² (℃)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	

D31PLL-20	D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20	D31EX-21	D31PX-21	D37EX-21	D37PX-21
ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ドーザ シヨベル	ドーザシヨベル, 湿地シユー	パワーアングル チルト・サ	パワーアングル チルト・サ	パワーアングル チルト・サ	パワーアングル チルト・サ
47653～	3661～	3661～	41184～	41184～	50001～	50001～	5001～	5001～
検 査 基 準 値								
2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2510～2640 750～850 — (75～90) (40～60)	2510～2640 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2355～2485 750～850 — (75～90) (40～60)	2150～2250 800～850 — (75～90) (45～55)	2150～2250 800～850 — (75～90) (45～55)	2150～2250 800～850 — (75～90) (45～55)	2150～2250 800～850 — (75～90) (45～55)
343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	343～588 3.5～6.0 (90～110) (2350)	340～690 3.5～7.0 (90～110) (2000)	340～690 3.5～7.0 (90～110) (2000)	340～690 3.5～7.0 (90～110) (2000)	340～690 3.5～7.0 (90～110) (2000)
0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]	0.25 0.51 [常温]
2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2412 24.6 (75～90) (320～360)	2410 24.6 (75～90) (320～360)	2410 24.6 (75～90) (320～360)	2410 24.6 (75～90) (320～360)	2410 24.6 (75～90) (320～360)
17162 175	17162 175	17162 175	17162 175	17162 175	22000～23400 224～239	22000～23400 224～239	22000～23400 224～239	22000～23400 224～239
— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]	— [—]
— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — 10.3～11.3	— — HST	— — HST	— — HST	— — HST
294 3	294 3	294 3	294 3	294 3	HST	HST	HST	HST
2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	2108～2403 21.5～24.5	HST	HST	HST	HST
(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	(40～60) (2560)	HST	HST	HST	HST
31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	31.4±2.9 3.2±0.3	HST	HST	HST	HST
— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 3.7～4.7	— 4.5～6.5	— 4.5～6.5	— 4.5～6.5	— 4.5～6.5
2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	2108～2403 21.5～24.5 (40～60)	HST	HST	HST	HST

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		42714～	47617～	47617～	47617～	47617～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		鉄張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕	20～30 〔②〕
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	157.25(154.25) 〔③〕	157.25(154.25) 〔③〕	157.25(154.25) 〔③〕	157.25(154.25) 〔③〕	157.25(154.25) 〔③〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕	〔③〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	シリンダ	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕	100 〔④〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
	ドーザ ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
	作業 機 速 度	ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕	2.1 〔⑥〕
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
		ドーザ リフトアーム上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
		バケットチルトバック 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕	〔—〕
		(作動油温)	(℃)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	15200 155 (40～60)	15200 155 (40～60)	15200 155 (40～60)	15200 155 (40～60)	15200 155 (40～60)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D31PLL-20	D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20	D31EX-21	D31PX-21	D37EX-21	D37PX-21
ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ドーザ ショベル	ドーザショベル, 湿地シユ-	ハ°ワ-アング°ル チルトト°-サ°	ハ°ワ-アング°ル チルトト°-サ°	ハ°ワ-アング°ル チルトト°-サ°	ハ°ワ-アング°ル チルトト°-サ°
47617~	3661~	3661~	41184~	41184~	50001~	50001~	5001~	5001~
検 査 基 準 値								
20~30 〔 ① 〕	20~30 〔 ① 〕	20~30 〔 ① 〕	20~30 〔 ① 〕	20~30 〔 ① 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕
20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕	20~30 〔 ② 〕
157.25(154.25) 〔 ③ 〕	157.25(154.25) 〔 ③ 〕	157.25(154.25) 〔 ③ 〕	157.25(154.25) 〔 ③ 〕	157.25(154.25) 〔 ③ 〕	157.3(154.3) 〔 ③ 〕	157.3(154.3) 〔 ③ 〕	157.3(154.3) 〔 ③ 〕	157.3(154.3) 〔 ③ 〕
〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕	〔 ③ 〕
- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕	- 〔 - 〕
100 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	100 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	100 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	- 〔 - 〕 - 〔 - 〕 〔 - 〕	- 〔 - 〕 - 〔 - 〕 〔 - 〕	50 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	50 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	50 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕	50 〔 ④ 〕 100 〔 ④ 〕 〔 - 〕
〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	100 〔 ⑤ 〕 10 〔 ⑤ 〕	100 〔 ⑤ 〕 10 〔 ⑤ 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕
(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)				
2.1 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	2.1 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	2.1 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	- 〔 - 〕 〔 - 〕	- 〔 - 〕 〔 - 〕	1.8~2.2 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	1.8~2.2 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	1.8~2.2 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕	1.8~2.2 〔 ⑥ 〕 〔 - 〕
〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	〔 - 〕 〔 - 〕	5.9 〔 ⑦ 〕 2.1 〔 ⑦ 〕	5.9 〔 ⑦ 〕 2.1 〔 ⑦ 〕	〔 〕 〔 〕	〔 〕 〔 〕	〔 〕 〔 〕	〔 〕 〔 〕
(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)	(40~60)
15200 155 (40~60)	15200 155 (40~60)	15200 155 (40~60)	15200 155 (40~60)	15200 155 (40~60)	20310~21090 207~215 (45~55)	20310~21090 207~215 (45~55)	20310~21090 207~215 (45~55)	20310~21090 207~215 (45~55)

モデル名	D31A-20	D31P-20	D31P-20A	D31PG-20A	D31PL-20
	D31EX-21	D31PX-21	D37EX-21	D37PX-21	

①

■ 点 検

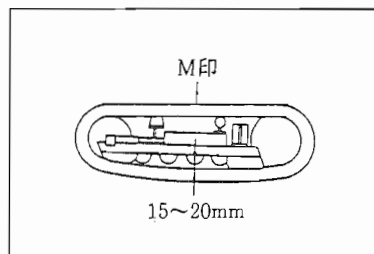


警 告

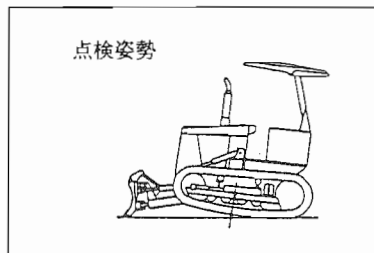
2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ踏面とトラックシューのローラ転動面とのスキマが20～30mmあれば標準です。

35mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。



点検姿勢

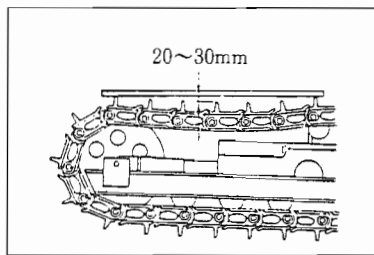


②

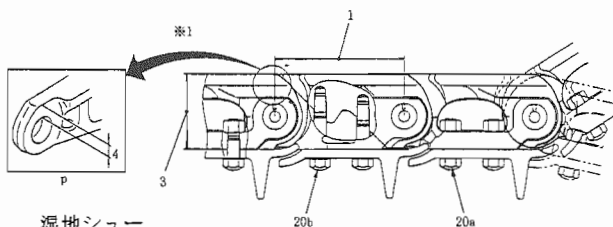
■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

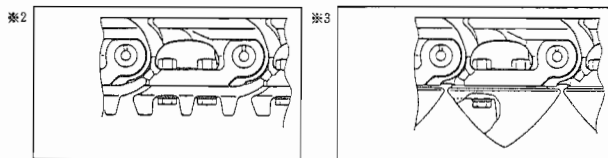
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



③ オイル封入履帯



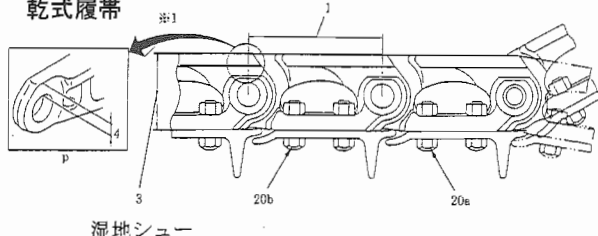
湿地シュー



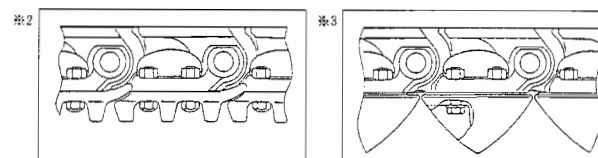
★P部はブッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプルシュー（D31S、Q-20用）
※1 シングルシュー ※3 湿地シュー

No.	項 目	判 定 基 準		
1	リンクピッチ	基本寸法	許 容 限 度	
		154.25	157.25	
20	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		147.1±19.6 {15±2}	60±10	
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})
		147±19.6 {15±2}	180±10	255 {26}

乾式履帯

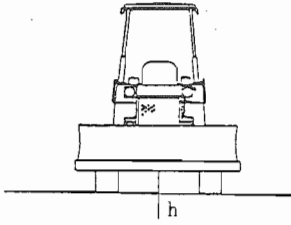
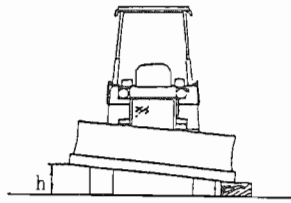
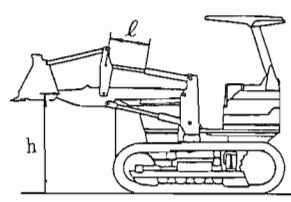
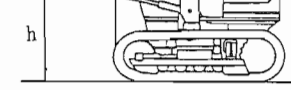
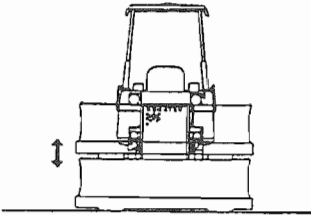
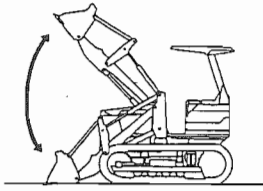
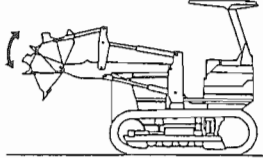


湿地シュー



★P部はブッシュ圧入側リンクを示す。 ※2 トリプルシュー（D31S、Q-20用）
※1 シングルシュー ※3 湿地シュー

No.	項 目	判 定 基 準		
1	リンクピッチ	基本寸法	許 容 限 度	
		154.25	157.25	
20	a. レギュラリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	
		147.1±19.6 {15±2}	60±10	
	b. マスタリンク	締め付けトルク (Nm {kgm})	増し締め角 (度)	下限トルク (Nm {kgm})
		—	—	—

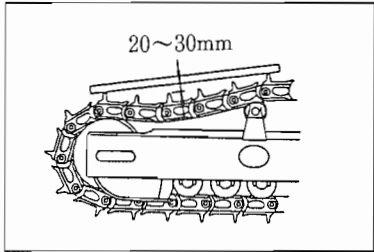
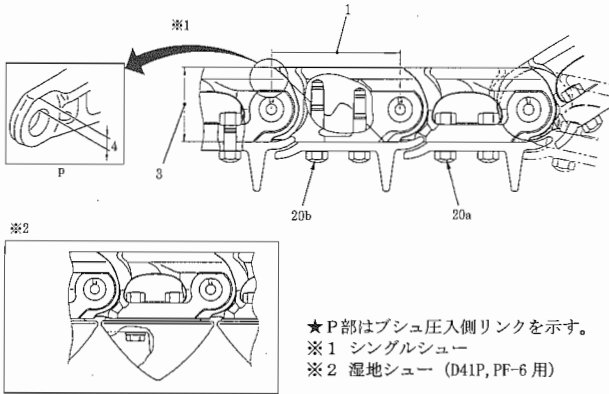
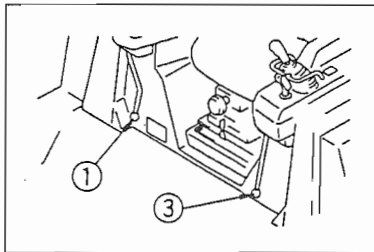
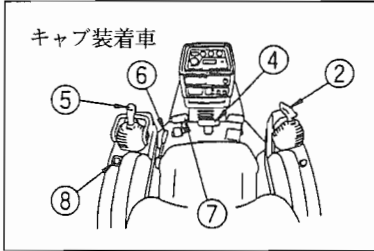
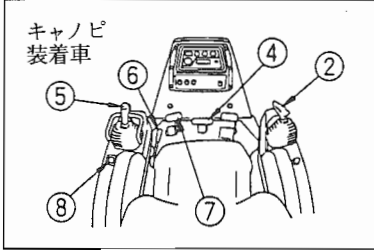
D31PLL-20	D37P-5A	D31PG-5A	D31S-20	D31Q-20					
項 目		測 定 条 件				単位	新 基 準 値	車 故障判定 基 準 値	
④	自 然 降	ブ レ ー ド	 ★ブレード地上から 300mm				mm	100	—
		ブレードチルト (チルト時本体降下量)	 ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばいに上げる ・上記の姿勢からブレードの降下量hを測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する					100	—
	下 量	バ ケ ッ ト リ フ ト ア ー ム	 ★リフトアーム上面、バケット底部水平 ・上記の姿勢からダンプシリンダの伸び量ℓおよびバケットヒンジピンの降下量hを測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する				mm	100	—
		バ ケ ッ ト	 ★リフトアーム上面、バケット底部水平 ・上記の姿勢からダンプシリンダの伸び量ℓおよびバケットヒンジピンの降下量hを測定する ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する					10	—
⑥	ブ レ ー ド	リフト		上 げ	秒	2.1	—		
⑦	バ ケ ッ ト	リフト		上 げ	秒	5.9	—		
		ダンプ							
				チルトバック					

コ マ ツ

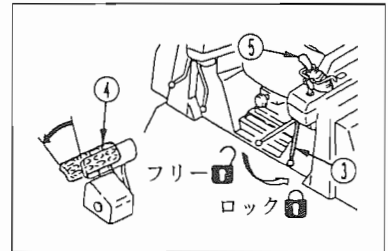
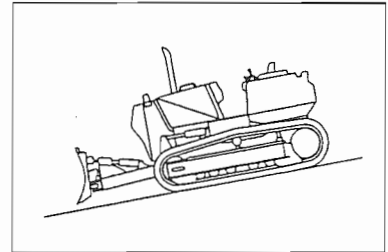
適用範囲		モデル名		D41E-6	D41P-6		D39EX-21	D39PX-21
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト		パワーアングル チルト・サー	パワーアングル チルト・サー
		適用号機		B20001～	B20001～		1001～	1001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デイ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	2560±50	2560±50		2400±50	2400±50
		ハイアイドルリング	min^{-1}	825±25	825±25		800±25	800±25
		ローアイドルリング	min^{-1}	—	—		—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(75～90)	(75～90)		(75～90)	(75～90)
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)
		エンジン油圧	KPa	274～520	274～520		290～590	290～590
		(油温)	kg/cm^2	2.8～5.3	2.8～5.3		3～6	3～6
		(回転速度)	(℃)	(80)	(80)		(90～110)	(90～110)
動 力 伝 達 装 置	燃料装置	弁すき間	(min^{-1})	(2650)	(2650)		(2400)	(2400)
		吸気弁 スキ間	KPa	2412	2412		2410	2410
	冷却装置	排気弁 スキ間	kg/cm^2	24.6	24.6		24.6	24.6
		[測定条件]	(℃)	(75～90)	(75～90)		(75～85)	(75～85)
	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	(min^{-1})	(320～360)	(320～360)		(320～360)	(320～360)
			KPa	17162	17162		22000～23400	22000～23400
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り	kg/cm^2	175	175		224～239	224～239
		測定位置・条件	mm	—	—		オートテンション	オートテンション
ス テ ア リ ン グ 装 置	イン チ ン グ ペ ダ ル	ペダル取り付け高さ	mm	—	—		—	—
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—		HST	HST
		ペダルの全ストローク	cm	10.5±1.5	10.5±1.5		—	—
	ト ラ ン ス ミ ッ シ ョ ン		KPa					
		ミッション油圧	kg/cm^2					
		クラッチ油圧	KPa	294	294		HST	HST
			kg/cm^2	3	3		HST	HST
	プロペラシャフト	(ミッション油温)	KPa	3040	3040		HST	HST
		(エンジン回転速度)	kg/cm^2	31	31		HST	HST
	レ バ ー	ボルト締付けトルク	(℃)	(70～80)	(70～80)		HST	HST
			(min^{-1})	(2650)	(2650)		HST	HST
ス テ ア リ ン グ 装 置	ステアリング装置	レバー遊びのストローク	N・m	66.2±7.3	66.2±7.3		HST	HST
		レバーの全ストローク	kgm	6.75±0.75	6.75±0.75		HST	HST
ス テ ア リ ン グ 装 置	ステアリング装置	ステアリングクラッチ油圧	cm	9.5±1.5	9.5±1.5		5.5±1.0	5.5±1.0
		(油温)	cm	—	—		—	—

適用範囲		モデル名		D41E-6	D41P-6		D39EX-21	D39PX-21
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト		ハリアンケル チルト・サ	ハリアンケル チルト・サ
		適用号機		B20001～	B20001～		1001～	1001～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕		— 〔—〕	— 〔—〕
		鉄 シ ユ ー 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕		20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	174.7 (171.7) 〔②〕	174.7 (171.7) 〔②〕		174.7 (171.7) 〔②〕	174.7 (171.7) 〔②〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔②〕	〔②〕			
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔③〕	— 〔③〕			
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔④〕	50 〔④〕		50 〔④〕	50 〔④〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔④〕	100 〔④〕		100 〔④〕	100 〔④〕
		リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔—〕	〔—〕		〔—〕	〔—〕
	作業機 速度		mm					
			mm					
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)
		ブルドーザ ブレード上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.2±0.2 〔⑤〕	2.2±0.2 〔⑤〕		2.0±0.2 〔⑤〕	2.0±0.2 〔⑤〕
油圧装置	油圧回路 設定圧力	リップ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔—〕	〔—〕		〔—〕	〔—〕
			sec					
			sec					
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa	20594	20594		20600～21380	20600～21380
			kg/cm ²	210	210		210～218	210～218
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

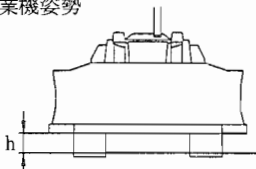
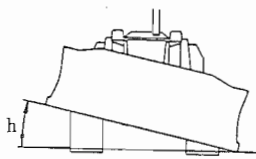
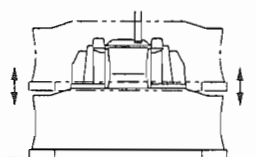
モデル名		D41E-6	D41P-6	D39EX-21	D39PX-21
① 点検		平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグローサとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。 標準の張りでないときは、次のように調整してください。			
		② オイル封入履帯  ★P部はプシュ圧入側リンクを示す。 ※1 シングルシュー ※2 湿地シュー（D41P, PF-6 用）			
③ ブレーキ性能チェック		⚠ 警 告 以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。 重 要 変速レバーは 1 速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。 エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。 ① インチングペダル ⑦をいっぱいに踏込んでください。 ② エンジンを始動させてください。 ③ 安全ロックレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げてください。 安全ロックレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。 ④ パーキングレバー ③をフリーにしてください。 ⑤ 燃料調整レバー ⑥を操作して、ローアイドルリングとフル回転の中間位置まで引いてください。			
					
		キャブ装着車 			
		キャノピ装着車 			

- ⑥ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を2速に入れて、速度段表示窓⑧の表示が2速になっていることを確認してから、前進側に倒してください。
- ⑦ ブレーキペダル④を踏込んだままでイン칭ングペダル⑦をゆっくりもどしてください。
- ⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。
- ⑨ 次にパーキングブレーキの点検をします。
車両を坂道で前下りの位置になる様に移動してください。
- ⑩ 坂道でエンジンをかけたまま、ブレーキペダル④を踏み前後進レバー⑤を中立に戻し、車両を停止します。
- ⑪ パーキングレバー③を、ロック位置とします。
ブレーキペダル④を離して車両が動かなければ、パーキングブレーキは正常です。
- ⑫ 万一車両が動いた時は、パーキングレバー③をフリーの位置にしてブレーキペダル④を踏み込んでください。



重 要

パーキングレバー③をフリーの位置にしないと、ブレーキペダルが効きません。

項 目	測 定 条 件	単 位	新 基 準 値	故 障 判 定 基 準 値
④ リフト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレード中刃を300mm上昇させた位置からの15分間の降下量 (h)	mm/ 15分	50 以下	100 以上
チルト自然降下量	・作業機姿勢  ・エンジン停止 ・作動油温：45～55℃ ・ブレードを最大チルトさせて接地した位置からの15分間の降下量 (h)	mm/ 15分	100 以下	200 以上
⑤ ブレード上昇速度	・作業機姿勢  ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード無負荷 ・ブレード接地～最大上げ間の所要時間	上 げ 秒	2.2±0.2	2.7

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
		仕様		トレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		83001～	83001～	83195～	83195～	84007～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	1925±50	1925±50	2100±50	2100±50	2100±50
		ハイアイドルリング	min^{-1}	750±50	750±50	850±50	850±50	850±50
		ローアイドルリング	min^{-1}	—	—	1600±30	1600±30	1600±30
		トルコンストール状態 (冷却水温)	(℃)	(75～85)	(75～85)	(75～85)	(75～85)	(75～85)
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa	294～490	294～490	294～490	294～490	294～490
		(油温)	kg/cm^2	3～5	3～5	3～5	3～5	3～5
	弁すき間	(回転速度)	(℃)	(80～110)	(80～110)	(75～85)	(75～85)	(75～85)
		(回転速度)	(min^{-1})	(1925)	(1925)	(2100)	(2100)	(2100)
		弁すき間	mm	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
動力伝達装置	燃料装置	吸気弁 スキ間	mm	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
		排気弁 スキ間	mm	0.71	0.71	0.71	0.71	0.71
	冷却装置	[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]
		圧縮圧力	KPa	3334	3334	3530	3530	3530
	燃 料 装 置	(冷却水温)	kg/cm^2	34	34	36	36	36
		(回転速度)	(℃)	(75～85)	(75～85)	(75～85)	(75～85)	(75～85)
	燃 料 装 置	(回転速度)	(min^{-1})	(200～250)	(200～250)	(150～200)	(150～200)	(150～200)
		噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa	17162	17162	17162	17162	17162
	冷 却 装 置	燃料噴射開始圧力	kg/cm^2	175	175	175	175	175
		ファン駆動ベルトの張り	mm	13	13	10	10	10
動力伝達装置	主クラッチ・トランスミッション	クラッチレバー	cm	—	—	—	—	—
		レバー遊びのストローク	cm	29±3	29±3	—	—	—
	主クラッチ型	ブースタ油圧	KPa	2942	2942	—	—	—
		ブースタ油圧	kg/cm^2	30	30	—	—	—
	ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa	2942	2942	—	—	—
		ミッション潤滑油圧	kg/cm^2	30	30	—	—	—
	流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa	—	—	392～686	392～686	392～686
		トルコン油圧	kg/cm^2	—	—	4～7	4～7	4～7
	ミッション	ミッション潤滑油圧	KPa	—	—	294	294	294
		ミッション潤滑油圧	kg/cm^2	—	—	3	3	3
ステアリング装置	クラッチ油圧	クラッチ油圧	KPa	—	—	2452	2452	2452
		クラッチ油圧	kg/cm^2	—	—	25	25	25
	(ミッション油温)	(ミッション油温)	(℃)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)
		(エンジン回転速度)	(min^{-1})	(1925)	(1925)	(2100)	(2100)	(2100)
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m	65.7±6.9	65.7±6.9	65.7±6.9	65.7±6.9	65.7±6.9
		ボルト締付けトルク	kgm	6.7±0.7	6.7±0.7	6.7±0.7	6.7±0.7	6.7±0.7
	ステアリング装置	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—	—	—
		レバーの全ストローク	cm	20±2	20±2	12±2	12±2	12±2
	ステアリング装置	ステアリングクラッチ油圧	KPa	1961+392	1961+392	2108	2108	2108
		(油温)	kg/cm^2	20+4	20+4	21.5	21.5	21.5
	ステアリング装置	(油温)	(℃)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)

D53P-18A								
ストレート チルト								
84007～								
検 査 基 準 値								
2100±50 850±50 1600±30 (75～85) (45～55)								
294～490 3～5 (75～85) (2100)								
0.33 0.71 [常温]								
3530 36 (75～85) (150～200)								
17162 175								
10 [6] [58.8]								
392～686 4～7								
294 3								
2452 25								
(70～80) (2100)								
65.7±6.9 6.7±0.7								
— 12±2								
2108 21.5 (70～80)								

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト	ストレート チルト
		適用号機		83001～	83001～	83195～	83195～	84007～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト 鉄シユ	ゴムベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
		張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕	20～30 〔①〕
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	178.25(175.25) 〔②〕	178.25(175.25) 〔②〕	178.25(175.25) 〔②〕	178.25(175.25) 〔②〕	178.25(175.25) 〔②〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕	〔②〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕	100 〔③〕
		リップリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
	作業機 速度		mm					
			mm					
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.9±0.3 〔④〕	1.9±0.3 〔④〕	2.0±0.3 〔④〕	1.9±0.3 〔④〕	2.0±0.3 〔④〕
		リップ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕	— 〔—〕
	油圧回路 設定圧力		sec					
			sec					
	油圧回路 設定圧力	(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa	13729+981	13729+981	13729+981	16181+981	13729+981
		(作動油温)	kg/cm ² (℃)	140+10 (45～55)	140+10 (45～55)	140+10 (45～55)	165+10 (45～55)	140+10 (45～55)

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D53P-18A								
ストレート チルト								
84007～								
検 査 基 準 値								
— [—]								
20～30 [①]								
178.25(175.25) [②]								
[②]								
— [—]								
100 [③]								
100 [③]								
[—]								
(45～55)								
1.9±0.3 [④]								
[—]								
(45～55)								
16181+981 165+10 (45～55)								

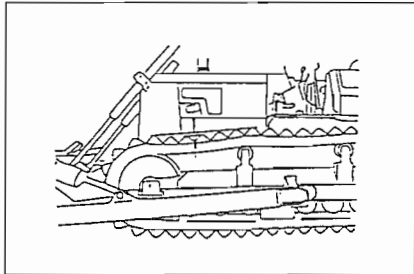
モ デ ル 名		D50P-18	D50P-18A	D53A-18	D53A-18A	D53P-18
---------	--	---------	----------	---------	----------	---------

①

■ 点 検

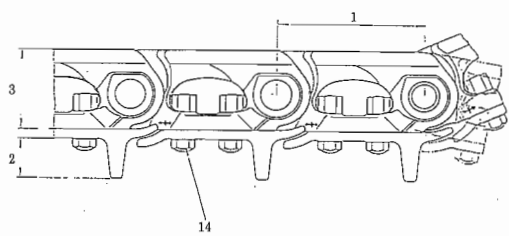
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

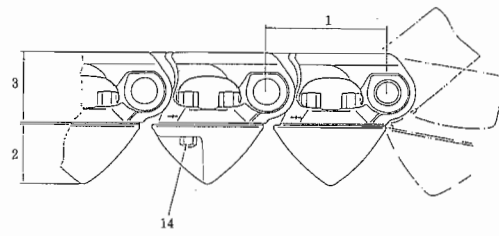


②

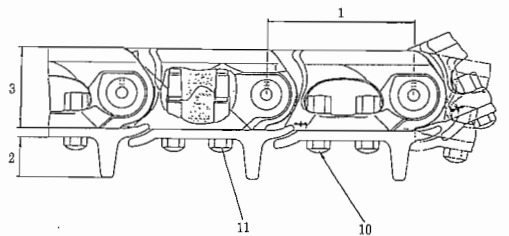
トラック（乾式履帯）



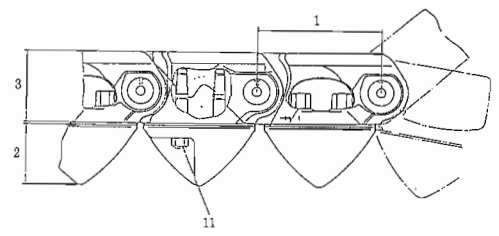
湿 地 用



トラック（オイル封入履帯）

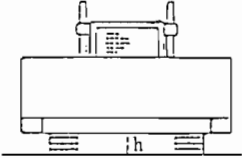
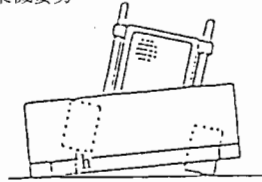
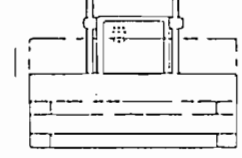


湿 地 用



	項 目	適 用 号 機	基 本 寸 法	修 理 可 能 限 度	反 転 ま た は 交 換
No. 1	リンクピッチ	80001～	175.25	178.25	
14	シューボルト 締付トルク	適 用 号 機	基 本 寸 法	増 締 角	増 締 め
		80001～	20±2kgm	120°±10°	

	項 目	適 用 号 機	基 本 寸 法	修 理 可 能 限 度	反 転 ま た は 交 換
No. 1	リンクピッチ	80001～	175.25	178.25	
10	シューボルト 締付トルク	適 用 号 機	初 期 締 付 ト ル ク	増 締 角	増 締 め
		80001～	20±2kgm	120°±10°	
11	マスタリンク 締付トルク	80001～	20±2kgm	180°±10°	

項 目	測 定 条 件	単 位	新 基 準 値	車 値	故障判定 基 準 値
③ 自 然 降 下 量	・作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード中刃地上 300mm からの降下量(h)	mm/	100/15		
自然チルト降下量	・作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・チルトして車体を突張りエンジン停止直後から接地まで	左チルト	min	100/15	
		右チルト		100/15	
④ ブレード昇降速度	・作業機姿勢  ・作動油温：45～55℃ ・ブレード：無負荷 ・地上ー上昇限 ・エンジンフル	上 げ	sec	PAT 車： 1.9±0.3 P： 2.0±0.3	

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D57S-1B					
		仕様		ドーザ ショベル					
		適用号機		6501～					
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値					
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度							
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2050±50					
		ローアイドルリング	min ⁻¹	800±50					
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ (℃) (℃)	1860～1950 (70～90) (45～55)					
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa kg/cm ²	294～490 3～5					
		(油温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(90～110) (2050)					
	弁すき間	吸気弁 スキ間	mm	0.34					
		排気弁 スキ間 [測定条件]	mm []	0.66 [常温]					
燃料装置	圧縮圧力	圧縮圧力	KPa kg/cm ²	2942 30					
		(冷却水温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(70～90) (320～360)					
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	17162 175					
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	ファン駆動ベルトの張り	mm	5～7					
		[測定位置・条件]	[kg N]	[6 58.8]					
	冷却装置								
動力伝達装置	トランスミッション	流体力継ぎ手型		cm cm cm					
			KPa kg/cm ²						
			トルコン油圧	KPa kg/cm ²	490～686 5～7				
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	196～392 2～4				
	クラッチ油圧	クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	2157～2354 22～24					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(70～80) (2050)					
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	65.7±6.9 6.7±0.7					
ステアリング装置	ペダル	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 11～13					
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	1863～2255 19～23 (70～80)					

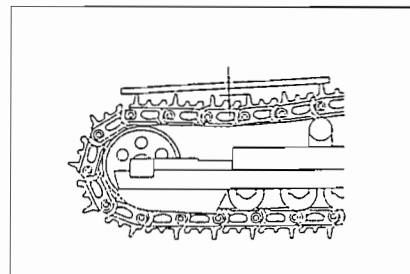
適用範囲		モデル名		D57S-1B				
		仕様		ドーザ ショベル				
		適用号機		6501～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕				
		鉄 シ ユ 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕				
		リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	193.25 (190.25) 〔 ② 〕				
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	509.9±49 52±5 〔 ② 〕				
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔 — 〕				
作業装置	シリンダ 自然伸縮		mm					
			mm					
			mm					
	ドーザ ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 — 〕				
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔 — 〕				
	(作動油温)		(℃)	(45～55)				
	作業 機速度		sec					
			sec					
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa kg/cm ²	15200±784 155±8				
		(作動油温)	(℃)	(45～55)				

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

①

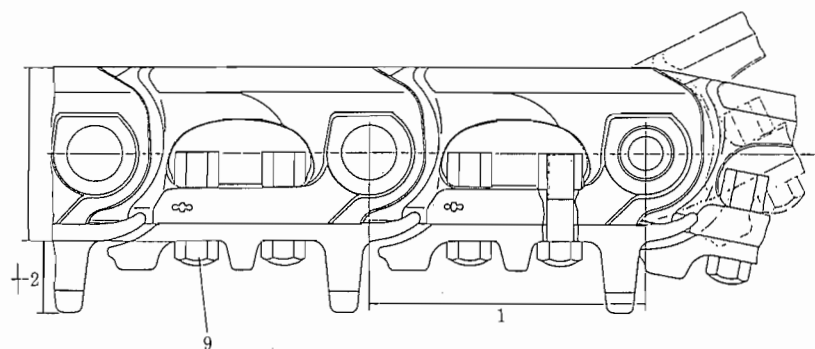
■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロサとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



②

トラック（履帯）



1	リンクピッチ	適 用 号 機	基 本 寸 法	修 理 可 能 限 度	反転または 交 換
		6501～	190.25	193.25	
9	シューボルト締付トルク	52±5 kgm			増 締 め

コ マ ツ

適用範囲		モデル名	D60P-12				
		仕様	ストレート チルト				
		適用号機	60884～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ハイアイドルリング ローアイドルリング トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2100±50 825±25 — (70～85) (45～55)			
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294～490 3～5 (90～110) (2100)			
		弁すき間 吸気弁 スキ間 排気弁 スキ間 [測定条件]	mm mm []	0.33 0.71 [常温]			
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3530 36 (70～85) (200～250)			
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	17162 175			
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件]	mm [kg] [N]	10 [6] [58.8]			
動力伝達装置	主クラッチペダル	ペダル取り付け高さ ペダルの遊びのストローク ペダルの全ストローク	cm cm cm	— — 10.5±1.5			
	主クラッチ・トランスミッション	主クラッチ型	クラッチシリンダ油圧	KPa kg/cm ²	2256±98 23±1		
		ダイレクト シフト型		KPa kg/cm ²			
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	147 1.5		
				KPa kg/cm ²			
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	(70～80) (2100)			
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	110.25±12.25 11.25±1.25			
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	— 9.0±1.5			
		ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	2452±98 25±1 (70～80)			

適用範囲		モデル名		D60P-12				
		仕様		ストレート チルト				
		適用号機		60884～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム ベルト 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕				
		鉄 張り(たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕				
		シ ユ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	206.45 (203.45) 〔 ② 〕				
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	[②]				
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔③〕				
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 ④ 〕				
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	200 〔 ④ 〕				
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	〔 — 〕				
	作業機速度		mm					
			mm					
		(作動油温)	(℃)	(45～55)				
油圧装置	油圧回路設定圧力	ブルドーザ ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.4 〔 ④ 〕				
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	〔 — 〕				
	油圧回路設定圧力		sec					
			sec					
	(作動油温)		(℃)	(45～55)				
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	20594±981 210±10 (45～55)				

★ リンクピッチの()内は基本寸法を示す

モ デ ル 名

D60P-12

①

■ 点 検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロウサとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。
標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

②

トラックシュー（乾式）

湿地シュー

トラックシュー（オイル封入式）

湿地シュー

1	リンクピッチ	基本寸法	修理可能限度	反 転 または 交 換
		203.45	206.45	
12	シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 角	増締め または 交 換
		40±4 kgm	120±10°	

1	リンクピッチ	基本寸法	許 容 限 度		反 転 または 交 換
		203.45	—		
10	レギュラ シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 め	下限トルク	増締め または 交 換
		40±4 kgm	120±10°	—	
11	マスタリンク 締付ボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 め	下限トルク	増締め または 交 換
		35±4 kgm	180 ⁰ _{-20°}	80kgm	

③ ■ D60P の場合

▲ 警 告

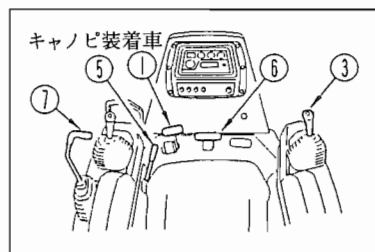
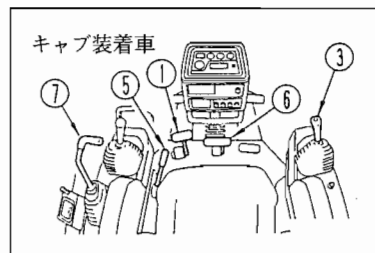
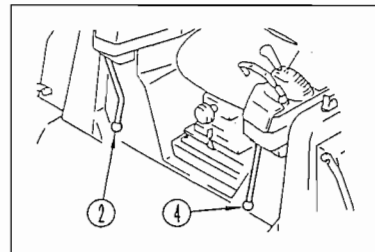
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。

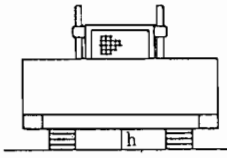
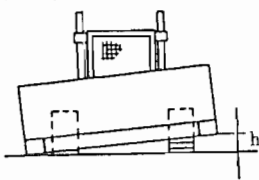
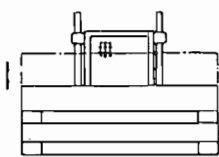
重 要

変速レバーは 1 速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。

- ① メインクラッチペダル①をいっばいに踏込んでください。
- ② エンジンを始動させてください。
- ③ セフティレバー②をフリーにして、ブレード操作レバー③を操作してブレードを上げてください。
セフティレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。
- ④ パーキングレバー④をフリーにしてください。
- ⑤ 燃料調整レバー⑤を操作して、ローアイドリングとフル回転の間位置まで引いてください。
- ⑥ ブレーキペダル⑥を踏み、変速レバー⑦を2速に入れてください。
- ⑦ ブレーキペダル⑥を踏込んだままでメインクラッチペダル①をゆっくりもどしてください。
- ⑧ 上記操作でエンジンが停止して車両が動かなければブレーキは正常です。



項 目	測 定 条 件	単 位	D60P-12	
			新 車 基 準 値	故障判定 基 準 値
④ 自然降下量	ブレードリフト  ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード中刃地上 800mm からの降下量	mm/	100 以下	—
	ブレードチルト  ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・エンジンスロー ・ブレード刃先の降下量	左チルト 右チルト	200 以下 200 以下	— —
	ブレード (リフト)  ・作業機姿勢 ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード：無負荷 ・地上～上昇限	上 げ sec	2.4 ^{+0.2} _{-0.5}	2.5

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D65E-12	D65P-12	D65EX-12	D65PX-12	
		仕様		ストレート チルト	ストレート チルト	ストレートチルト, IISSステアリング	ストレートチルト, IISSステアリング	
		適用号機		60948～	60891～	60942～	60915～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度						
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100±50	2100±50	2100±50	2100±50	
		ローアイドルリング	min ⁻¹	825±25	825±25	825±25	825±25	
		トルコンストール状態	min ⁻¹	1690±100	1770±100	1770±100	1770±100	
		(冷却水温)	(℃)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	
		(作動油温)	(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa	294～490	294～490	294～490	294～490	
		(油温)	kg/cm ²	3～5	3～5	3～5	3～5	
	弁すき間	(油温)	(℃)	(90～100)	(90～100)	(90～100)	(90～100)	
		(回転速度)	(min ⁻¹)	(2100)	(2100)	(2100)	(2100)	
		弁すき間						
動 力 伝 達 装 置	燃料装置	吸気弁 スキ間	mm	0.33	0.33	0.33	0.33	
		排気弁 スキ間	mm	0.71	0.71	0.71	0.71	
	圧縮圧力	[測定条件]	[]	[常温]	[常温]	[常温]	[常温]	
		圧縮圧力	KPa	3530	3530	3530	3530	
	冷却装置	(冷却水温)	kg/cm ²	36	36	36	36	
		(回転速度)	(℃)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	(70～85)	
	燃料噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	(回 転 速 度)	(min ⁻¹)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	(200～250)	
		噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa	17162	17162	17162	17162	
	ファン駆動ベルトの張り	燃料噴射開始圧力	kg/cm ²	175	175	175	175	
		[測定位置・条件]	[]	[]	[]	[]	[]	
動 力 伝 達 装 置	トランスミッション		cm					
			cm					
			cm					
			KPa					
			kg/cm ²					
	流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa	735±147	735±147	735±147	735±147	
			kg/cm ²	7.5±1.5	7.5±1.5	7.5±1.5	7.5±1.5	
		ミッション潤滑油圧	KPa	98±49	98±49	98±49	98±49	
	クラッチ油圧		kg/cm ²	1.0±0.5	1.0±0.5	1.0±0.5	1.0±0.5	
			KPa	3334±98	3334±98	3334±98	3334±98	
ス テ ア リ ン グ 装 置	プロペラシャフト		kg/cm ²	34±1	34±1	34±1	34±1	
			N・m	110.25±12.5	110.25±12.5	110.25±12.5	110.25±12.5	
	ボルト締付けトルク		kgm	11.25±1.25	11.25±1.25	11.25±1.25	11.25±1.25	
	レバ	レバー遊びのストローク	cm	—	—	—	—	
		レバーの全ストローク	cm	9.0±1.5	9.0±1.5	8.4±1.0	8.4±1.0	
	ステアリング装置	ステアリングクラッチ油圧	KPa	2452±98	2452±98	36775±1961	36775±1961	
		(油 温)	kg/cm ²	25±1	25±1	375±20	375±20	
			(℃)	(70～80)	(70～80)	(45～55)	(45～55)	

D61E-12	D61EX-12	D61P-12	D61PX-12		D65EX-15	D65PX-15		
アングル チルトト [°] サ [°]	アングル チルトト [°] サ [°]	アングル チルトト [°] サ [°]	アングル チルトト [°] サ [°]		パワーチルト ト [°] サ [°]	パワーチルト ト [°] サ [°]		
1001～	1001～	1001～	1001～		67001～	67001～		
検 査 基 準 値								
2000±50 850～900 1620±100 (70～85) (45～55)	2000±50 850～900 1620±100 (70～85) (45～55)	2000±50 850～900 1620±100 (70～85) (45～55)	2000±50 850～900 1620±100 (70～85) (45～55)		2000±50 850～900 1770±100 (70～85) (45～55)	2000±50 850～900 1770±100 (70～85) (45～55)		
294～490 3～5 (90～110) (2000)	294～490 3～5 (90～110) (2000)	294～490 3～5 (90～110) (2000)	294～490 3～5 (90～110) (2000)		392～686 4～7 (90～110) (2100)	392～686 4～7 (90～110) (2100)		
0.30 0.56 [常温]	0.30 0.56 [常温]	0.30 0.56 [常温]	0.30 0.56 [常温]		0.33 0.71 [常温]	0.33 0.71 [常温]		
3130 32 (70～85) (200～250)	3130 32 (70～85) (200～250)	3130 32 (70～85) (200～250)	3130 32 (70～85) (200～250)		2940 30 (70～85) (150～200)	2940 30 (70～85) (150～200)		
25990～27360 265～279	25990～27360 265～279	25990～27360 265～279	25990～27360 265～279		コモンレール	コモンレール		
6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕	6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕	6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕	6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕		6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕	6～7 〔 6 〕 〔 58.8 〕		
735±147 7.5±1.5	735±147 7.5±1.5	735±147 7.5±1.5	735±147 7.5±1.5		883 9	883 9		
98±49 1.0±0.5	98±49 1.0±0.5	98±49 1.0±0.5	98±49 1.0±0.5		98～245 1.0～2.5	98～245 1.0～2.5		
2750～2940 28～30	2750～2940 28～30	2750～2940 28～30	2750～2940 28～30		3334±98 34±1	33334±14 ±98		
(70～80) (2000)	(70～80) (2000)	(70～80) (2000)	(70～80) (2000)		(70～80) (2100)	(70～80) (2100)		
110.25±12.5 11.25±1.25	110.25±12.5 11.25±1.25	110.25±12.5 11.25±1.25	110.25±12.5 11.25±1.25		110.25±12.5 11.25±1.25	110.25±12.5 11.25±1.25		
— 9.0±1.0	— 9.0±1.0	— 9.0±1.0	— 9.0±1.0		— 2.5～5.5	— 2.5～5.5		
2450～3040 25～31 (70～80)	2450～3040 25～31 (70～80)	2450～3040 25～31 (70～80)	2450～3040 25～31 (70～80)		HSS モータ	HSS モータ		

コ マ ツ

適用範囲		モデル名		D65E-12	D65P-12	D65EX-12	D65PX-12	
		仕様		ストレートチルト	ストレートチルト	ストレートチルト, IISSステアリング	ストレートチルト, IISSステアリング	
		適用号機		60948～	60891～	60942～	60915～	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	— 〔 — 〕	
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔 ① 〕	20～30 〔 ① 〕	20～30 〔 ① 〕	20～30 〔 ① 〕	
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	206.45 (203.45) 〔 ② 〕	206.45 (203.45) 〔 ② 〕	206.45 (203.45) 〔 ② 〕	206.45 (203.45) 〔 ② 〕	
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	〔 ② 〕	〔 ② 〕	〔 ② 〕	〔 ② 〕	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	— 〔 ③ 〕	— 〔 ③ 〕	— 〔 ③ 〕	— 〔 ③ 〕	
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブルドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	100 〔 ④ 〕	100 〔 ④ 〕	100 〔 ④ 〕	100 〔 ④ 〕	
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	200 〔 ④ 〕	200 〔 ④ 〕	200 〔 ④ 〕	200 〔 ④ 〕	
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	50 〔 ④ 〕	50 〔 ④ 〕	50 〔 ④ 〕	50 〔 ④ 〕	
			mm					
			mm					
	(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	
作業機速度	ブルドーザ	ブレード上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.6 〔 ⑤ 〕	2.4 〔 ⑤ 〕	2.6 〔 ⑤ 〕	2.4 〔 ⑤ 〕	
		リッパ上げ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.4±0.2 〔 ⑥ 〕	— 〔 — 〕	1.4±0.2 〔 ⑥ 〕	— 〔 — 〕	
			sec					
			sec					
(作動油温)		(℃)	(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)		
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	20594±981 210±10 (45～55)	20594±981 210±10 (45～55)	23536±981 240±10 (45～55)	23536±981 240±10 (45～55)	

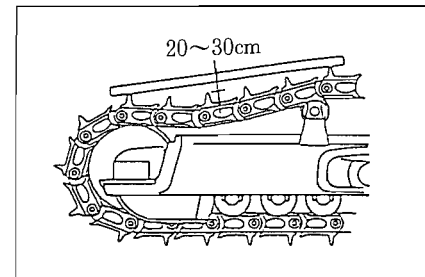
★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

D61E-12	D61EX-12	D61P-12	D61PX-12		D65EX-15	D65PX-15		
アングル チルトト°-サ°	アングル チルトト°-サ°	アングル チルトト°-サ°	アングル チルトトト°-サ°		パワーチルト ト°-サ°	パワーチルト ト°-サ°		
1001～	1001～	1001～	1001～		67001～	67001～		
検 査 基 準 値								
$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$		$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ - \end{bmatrix}$		
20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$	20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$	20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$	20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$		20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$	20～30 $\begin{bmatrix} ① \end{bmatrix}$		
193.3(190.3) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$	193.3(190.3) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$	193.3(190.3) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$	193.3(190.3) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$		206.45(203.45) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$	206.45(203.45) $\begin{bmatrix} ② \end{bmatrix}$		
[②]	[②]	[②]	[②]		[②]	[②]		
$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$		$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} - \\ ③ \end{bmatrix}$		
100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$	100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$	100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$	100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$		100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$	100 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 200 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$ 50 $\begin{bmatrix} ④ \end{bmatrix}$		
(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)		
2.5±0.2 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$	2.5±0.2 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$	2.5±0.2 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$	2.5±0.2 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$		2.6 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$	2.6 $\begin{bmatrix} ⑤ \end{bmatrix}$ 1.4±0.2 $\begin{bmatrix} ⑥ \end{bmatrix}$		
(45～55)	(45～55)	(45～55)	(45～55)		(45～55)	(45～55)		
20594±981 210±10 (45～55)	20594±981 210±10 (45～55)	20594±981 210±10 (45～55)	20594±981 210±10 (45～55)		20594±981 210±10 (45～55)	20594±981 210±10 (45～55)		

モ デ ル 名	D65EX-15	D65PX-15			
---------	----------	----------	--	--	--

① ■ 点 検

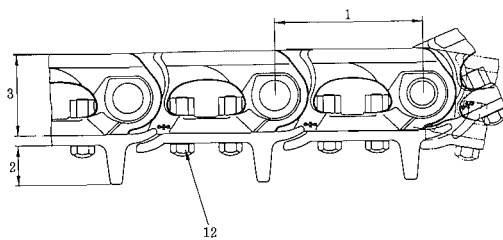
平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロースとの間が中央で 20～30mm あれば標準の張りです。標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。



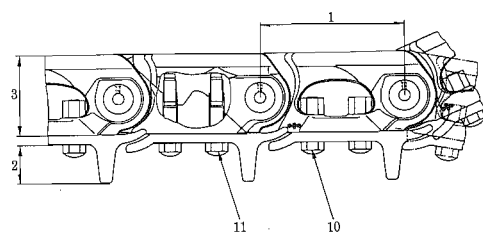
②

トラックシュー（乾式）

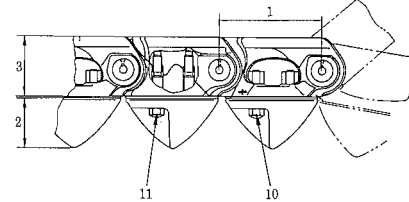
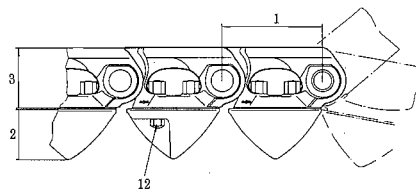
トラックシュー（オイル封入式）



湿地シュー



湿地シュー



1	リンクピッチ	基 本 寸 法	修理可能限度	反 転 または 交 換
		203.45	206.45	
12	シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 角	増締め または 交 換
		55±5 kgm	120±10°	

1	リンクピッチ	許 容 限 度			反 転 または 交 換
		203.45	206.45		
10	レギュラ シューボルト 締付トルク	初期締付トルク	増 締 め	下限トルク	増締め または 交 換
		55±5 kgm	120±10°	—	
11	マスタリンク 締付ボルト 締付トルク	35±4 kgm	180 ⁰ —20°	80kgm	

③ ■ D65EX, PX-15 の場合

▲ 警 告

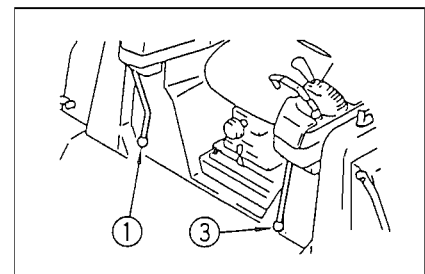
以下の操作で動いたときは、すぐに当社または当社販売サービス店へ修理を依頼してください。

重 要

変速レバーは1速には絶対に入れてはいけません。車両損傷の原因となります。

エンジンの始動前に車両の回りの安全を確認してからつぎの操作を行ってください。

- ① エンジンを始動させてください。



D61E-12	D61EX-12	D61P-12	D61PX-12		D65EX-15	D65PX-15		
---------	----------	---------	----------	--	----------	----------	--	--

② セフティレバー①をフリーにして、ブレード操作レバー②を操作してブレードを上げてください。

セフティレバーは、フリーの位置のままにしておいてください。

③ パーキングレバー③をフリーにしてください。

④ ブレーキペダル④を踏み、変速レバー⑤を 2 速に入れてください。

⑤ 燃料調整レバー⑥を操作して、エンジン回転をフル回転まで徐々に上げてください。

⑥ 上記操作で車両が動かなければブレーキは正常です。

キャブ装着車

キャノピ装着車

項 目	測 定 条 件	単 位	新 車 基 準 値	故 障 判 定 基 準 値
④ 自然 降 下 量	ブレードリフト ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード中刃地上 800mm からの降下量		100 以下	—
	ブレードチルト ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・エンジンスロー ・ブレード刃先の降下量	左チルト	200 以下	—
	リッパリフト (OP) ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・エンジン停止 ・ブレード下限地上 500mm から	右チルト	200 以下	—
⑤ 作 業 機 速 度	ブレード (リフト) ・作業機姿勢 ・エンジンフル ・作動油温：45～55℃ ・ブレード：無負荷 ・地上～上昇限	上 げ	2.4 ^{+0.2} _{-0.5}	2.5
	リッパ (OP) ・作業機姿勢 ・作動油温：45～55℃ ・シャंक穴最下段 ・地上～上昇限	上 げ	—	—

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		BD2J II				
		仕様		DPS-STD	DPS-LGP	DPS-SLGP	DD-STD	DD-LGP
		適用号機		JB520001~	JB620001~	JB720001~	JB020001~	JB120001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	2420±20	2420±20	2620±20	2420±20	2420±20
		ハイアイドルリング	min^{-1}	870±20	870±20	870±20	870±20	870±20
		ローアイドルリング	min^{-1}	-	-	-	-	-
		トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	($^{\circ}\text{C}$) ($^{\circ}\text{C}$)	(75~85) (-)	(75~85) (-)	(75~85) (-)	(75~85) (-)	(75~85) (-)
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa kg/cm^2	294~490 3~5	294~490 3~5	294~490 3~5	294~490 3~5	294~490 3~5
		(油温)	($^{\circ}\text{C}$)	60~70	60~70	60~70	60~70	60~70
		(回転速度)	(min^{-1})	1500	1500	1500	1500	1500
	弁すき間	吸気弁 すき間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		排気弁 すき間 [測定条件]	mm []	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]	0.25 [冷時]
	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm^2 ($^{\circ}\text{C}$) (min^{-1})	3234 33 (20~30) (150~200)	3234 33 (20~30) (150~200)	3234 33 (20~30) (150~200)	3234 33 (20~30) (150~200)	3234 33 (20~30) (150~200)
燃料装置	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm^2	13720 140	13720 140	11760 120	13720 140	13720 140
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm N kg	12	12	12	12	12
		[測定位置・条件] (kg と N の両方で 表記)	[]	[水ポンププーリ とオルタネータ の間]	[水ポンププーリ とオルタネータ の間]	[水ポンププーリ とオルタネータ の間]	[水ポンププーリ とオルタネータ の間]	[水ポンププーリ とオルタネータ の間]
動力伝達装置	クラッチ又は インチング ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
		ペダルの遊びのストローク	cm	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
		ペダルの全ストローク	cm	16	16	16	16	16
	走行クラッチ・トランスミッション油圧	主クラッチ型 ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	KPa kg/cm^2	-	-	-	-	-
		流体継ぎ 手型 トルコン油圧	KPa kg/cm^2	-	-	-	-	-
		ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm^2	98-196 1~2	98-196 1~2	98-196 1~2	-	-
		クラッチ油圧	KPa kg/cm^2	1862-2156 19~22	1862-2156 19~22	1862-2156 19~22	-	-
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	($^{\circ}\text{C}$) (min^{-1})	(50) (2300)	(50) (2300)	(50) (2300)	-	-
		プロペラシャフト	N・m kgm	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3
	ステアリング装置	レバール	cm cm	- 20~22	- 20~22	- 20~22	- 20~22	- 20~22
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm^2 ($^{\circ}\text{C}$)	1470~1666 15~17 (50)	1470~1666 15~17 (50)	1470~1666 15~17 (50)	1470~1666 15~17 (50)	1470~1666 15~17 (50)

BD2J II		BS3J II				D3C シリーズ III		
DD-SLGP	DD-SSLGP	DPS-STD	DPS-LGP	DD-STD	DD-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
JB220001～	JB320001～	JS520001～	JS620001～	JS020001～	JS120001～	6SL02941～	7GS232～	9CL1200～
検 査 基 準 値								
2620±20 870±20 — (75～85) (-)	2620±20 870±20 — (75～85) (-)	2420±20 870±20 — (75～85) (-)	2420±20 870±20 — (75～85) (-)	2420±20 870±20 — (75～85) (-)	2420±20 870±20 — (75～85) (-)	2550±45 750±25 — (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 — (70～80) (80～90)	2550±45 750±25 — (70～80) (80～90)
294～490 3～5 60～70 1500	294～490 3～5 60～70 1500	294～490 3～5 60～70 1500	294～490 3～5 60～70 1500	294～490 3～5 60～70 1500	294～490 3～5 60～70 1500	196～392 2～4 (60～70) (1500)	196～392 2～4 (60～70) (1500)	196～392 2～4 (60～70) (1500)
0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕
3234 33 (20～30) (150～200)	3234 33 (20～30) (150～200)	3234 33 (20～30) (150～200)	3234 33 (20～30) (150～200)	3234 33 (20～30) (150～200)	3234 33 (20～30) (150～200)	2940 30 (-) (250)	2940 30 (-) (250)	2940 30 (-) (250)
11760 120	11760 120	13720 140	13720 140	13720 140	13720 140	17650 180	17650 180	17650 180
12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔水ポンププーリ とオルタネータ の中間〕	12 〔プーリ間 —〕	12 〔プーリ間 —〕	12 〔プーリ間 —〕
20.0 1.5 16	20.0 1.5 16	20.0 1.5 16	20.0 1.5 16	20.0 1.5 16	20.0 1.5 16			
—	—	98-196 1～2	98-196 1～2	98-196 1～2	98-196 1～2	90±20 0.9±0.2	—	90±20 0.9±0.2
—	—	1862-2156 19～22	1862-2156 19～22	1862-2156 19～22	1862-2156 19～22	2517 以上 25.5 以上	—	2517 以上 25.5 以上
—	—	(50) (2300)	(50) (2300)	(50) (2300)	(50) (2300)	(49) (2400)	() ()	(49) (2560)
22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	22.6 2.3	35.3±0.2 3.6±0.2	—	35.3±0.2 3.6±0.2
— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	— 20～22	22(参考)		22(参考)
1470～1666 15～17 (50)	1470～1666 15～17 (50)	1470～1666 15～17 (50)	1470～1666 15～17 (50)	1470～1666 15～17 (50)	1470 から 15～17 1666 (50)	1900 以上 19.4 以上 (49) (1600 以上)	— ()	1900 以上 19.4 以上 (49) (1600 以上)

新キャタピラー三菱 (S C M)

適用範囲		モデル名		BD2J II				
		仕様		DPS-STD	DPS-LGP	DPS-SLGP	DD-STD	DD-LGP
		適用号機		JB520001～	JB620001～	JB720001～	JB020001～	JB120001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕	120～130 〔図 1〕
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	20～30 〔図 1〕	20～30 〔図 1〕	20～30 〔図 1〕	20～30 〔図 1〕	20～30 〔図 1〕
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	550 〔4リンク ピッチ〕	550 〔4リンク ピッチ〕	550 〔4リンク ピッチ〕	550 〔4リンク ピッチ〕	550 〔4リンク ピッチ〕
		履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	167～196 17～20	167～196 17～20	167～196 17～20	167～196 17～20	167～196 17～20
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上					
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	5mm/5 分 〔図 4〕	5mm/5 分 〔図 4〕	5mm/5 分 〔図 4〕	5mm/5 分 〔図 4〕	5mm/5 分 〔図 4〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		リッパシャンクシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕						
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
	(作動油温)		(℃)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)	(30～40)
	作業機速度	ブル・ドーザ ブレード上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	4.0(2.4) 〔図 7〕	4.0(2.4) 〔図 7〕	4.0(2.4) 〔図 7〕	4.0(2.4) 〔図 7〕	4.0(2.4) 〔図 7〕
		リッパ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		ドーザ・ショベル リフトアーム上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		バケットチルトバック(又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
	(作動油温)		(℃)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力 〔作動油温〕	KPa kg/cm ² (℃)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)

BS2J II		BS3J II				D3C シリーズ III		
DD-SLGP	DD-SSLGP	DPS-STD	DPS-LGP	DD-STD	DD-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
JB220001~	JB330001~	JS520001~	JS620001~	JS020001~	JS120001~	6SL02941~	7GS00232~	9CL01200~
検 査 基 準 値								
120~130 〔 図 1 〕	120~130 〔 図 1 〕	120~130 〔 図 1 〕	120~130 〔 図 1 〕	120~130 〔 図 1 〕	120~130 〔 図 1 〕			
20~30 〔 図 1 〕	20~30 〔 図 1 〕	20~30 〔 図 1 〕	20~30 〔 図 1 〕	20~30 〔 図 1 〕	20~30 〔 図 1 〕	〔 図 2 参照 〕	〔 図 2 参照 〕	〔 図 2 参照 〕
550 〔 4リンク ピッチ 〕	550 〔 4リンク ピッチ 〕	550 〔 4リンク ピッチ 〕	550 〔 4リンク ピッチ 〕	550 〔 4リンク ピッチ 〕	550 〔 4リンク ピッチ 〕			
167~196 17~20	167~196 17~20	167~196 17~20	167~196 17~20	167~196 17~20	167~196 17~20	120±5° 9.2±2.0 〔 90±20 〕 トルクターン	120±5° 9.2±2.0 〔 90±20 〕 トルクターン	120±5° 9.2±2.0 〔 90±20 〕 トルクターン
						勾配1/5で車 両静止状態で維 持出来ること。 〔 F2ハイアイアイ ドルで発進不可 〕	勾配1/5で車 両静止状態で維 持出来ること。 〔 駆動ポンプス トル時に発 進不可のこと。 〕	勾配1/5で車 両静止状態で維 持出来ること。 〔 F2ハイアイアイ ドルで発進不可 〕
5mm/5分 〔 図 4 〕	5mm/5分 〔 図 4 〕					22.4 〔 図 5 〕 44.5 〔 〕 44.5 〔 図 5 〕	7.1 〔 図 5 〕 6.1 〔 〕 6.3 〔 図 5 〕	22.4 〔 図 5 〕 44.5 〔 〕
		5mm/5分 〔 図 6 〕 7mm/5分 〔 図 6 〕	5mm/5分 〔 図 6 〕 7mm/5分 〔 図 6 〕	5mm/5分 〔 図 6 〕 7mm/5分 〔 図 6 〕	5mm/5分 〔 図 6 〕 7mm/5分 〔 図 6 〕			
(30~40)	(30~40)	(30~40)	(30~40)	(30~40)	(30~40)	(38~49)	(38~65)	(38~49)
4.0(2.4) 〔 図 7 〕	4.0(2.4) 〔 図 7 〕					〔 〕 〔 〕	3.0±0.7 〔 図 8 〕 1.1±0.4 〔 図 8 〕	〔 〕 〔 〕
		15.7(3.9) 〔 図 9 〕 3.3(3.1) 〔 図 9 〕	15.7(3.9) 〔 図 9 〕 3.3(3.1) 〔 図 9 〕	15.7(3.9) 〔 図 9 〕 3.3(3.1) 〔 図 9 〕	15.7(3.9) 〔 図 9 〕 3.3(3.1) 〔 図 9 〕			
(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	(40)	()	(38~65)	()
16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	16660 170 (40)	17225±345 175.6±3.5 (38 以上)	17225±345 175.6±3.5 (38 以上)	17225±345 175.6±3.5 (38 以上)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D3C シリーズⅢ		D4C シリーズⅢ		
		仕様		HST-LGP	DPS-SLGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
		適用号機		5NS00228, 5NS250～	8DL143～	6YL2323～	7NS00315～	8EL178～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
デ イ ゼ ル エ ン ジ ン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	2580±40	2550±45	2550±45	2580±40	2550±45
		ハイアイドリング	min^{-1}	800±50	750±25	750±25	800±50	750±25
		ローアイドリング	min^{-1}	—	—	—	—	—
		トルコンストール状態 (冷却水温)	($^{\circ}\text{C}$)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)	(70～80)
		(作動油温)	($^{\circ}\text{C}$)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)	(80～90)
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa kg/cm^2	196～392 2～4	196～392 2～4	196～392 2～4	196～392 2～4	196～392 2～4
		(油温)	($^{\circ}\text{C}$)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)	(60～70)
	(回転速度)	(回転速度)	(min^{-1})	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)	(1500)
		弁すき間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
	吸気弁 スキ間	吸気弁 スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
		排気弁 スキ間	mm	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
動 力 伝 達 装 置	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm^2	17650 180	17650 180	17650 180	17650 180	17650 180
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	12	12	12	12	12
		〔測定位置・条件〕 (kg と N の両方で 表記)	〔kg〕 〔N〕	〔プーリ間〕 —	〔プーリ間〕 —	〔プーリ間〕 —	〔プーリ間〕 —	〔プーリ間〕 —
	クラッチ又は インチング ペダル	ペダル取り付け高さ	cm					
		ペダルの遊びのストローク	cm					
		ペダルの全ストローク	cm					
	主クラッチ型	ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	KPa kg/cm^2					
		トルコン油圧	KPa kg/cm^2					
	流体継ぎ 手型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm^2		90±20 0.9±0.2	90±20 0.9±0.2		90±20 0.9±0.2
		クラッチ油圧	KPa kg/cm^2		2517 以上 25.5 以上	2897 以上 29.5 以上		2897 以上 29.5 以上
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(ミッション油温)	($^{\circ}\text{C}$)		(49)	(49)		(49)
		(エンジン回転速度)	(min^{-1})		(2400)	(2400)		(2400)
ス テ ア リ ン グ 装 置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm		35.3±0.2 3.6±0.2	54.9±0.6 5.6±0.6		54.9±0.6 5.6±0.6
	レバ ー	レバー遊びのストローク	cm		22(参考)	22(参考)		22(参考)
		レバーの全ストローク	cm					
ス テ ア リ ン グ 装 置	ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧	ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧	KPa kg/cm^2		1900 以上 19.4 以上	1900 以上 19.4 以上		1900 以上 19.4 以上
		(油温)	($^{\circ}\text{C}$)		(49)	(49)		(49)
ス テ ア リ ン グ 装 置	(回転速度)	(回転速度)	(min^{-1})		(1600 以上)	(1600 以上)		(1600 以上)

D4C シリーズⅢ	D5C シリーズⅢ				D3G		D4G	
HST-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP	HST-LGP	LGP	XL	LGP	XL
6FS239～	9DL02569～	9AS00403～	7YL176-181 7YL183～	4WS328, 330, 4WS332～	CLB00001～	CKA00001～	FDC00001～	CFN00001～
検 査 基 準 値								
2580±40 800±50 - (70～80) (80～90)	2550±45 750±25 - (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 - (70～80) (80～90)	2550±45 750±25 - (70～80) (80～90)	2580±40 800±50 - (70～80) (80～90)	2550±45 750±25 - 70 以上 70 以上	2550±45 750±25 - 70 以上 70 以上	2550±45 750±25 - 70 以上 70 以上	2550±45 750±25 - 70 以上 70 以上
196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)	196～392 2～4 60～70 (1500)
0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕	0.25 0.25 〔冷時〕
2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕	2940 30 - 〔250〕
17650 180	17650 180	17650 180	17650 180	17650 180	18142～19123 185～195	18142～19123 185～195	18142～19123 185～195	18142～19123 185～195
12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -	12 〔プーリ間〕 -
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	77±11 0.8±0.1	-	77±11 0.8±0.1	-	-	-	-	-
-	2517 以上 25.7 以上	-	2517 以上 25.7 以上	-	-	-	-	-
() ()	(49) (2400)	() ()	(49) (2400)	() ()	-	-	-	-
-	54.9±0.6 5.6±0.6	-	54.9±0.6 5.6±0.6	-	-	-	-	-
-	15.5(参考)	-	15.5(参考)	-	-	-	-	-
- ()	2200 以上 22.4 以上 (49) (1600 以上)	- ()	2200 以上 22.4 以上 (49) (1600 以上)	- ()	-	-	-	-

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D3C シリーズⅢ		D4C シリーズⅢ		
		仕様		HST-LGP	DPS-SSLGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP
		適用号機		5NS00228, 5NS00250～	8DL00142～	6YL2323～	7NS315～	8EL178～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴムベルト 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	図 2 参照 〔 〕	図 2 参照 〔 〕	図 2 参照 〔 〕	図 2 参照 〔 〕	図 2 参照 〔 〕
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	90±20 9.2±2.0 〔トルクターン〕 〔120±5°〕	90±20 9.2±2.0 〔トルクターン〕 〔120±5°〕	90±20 9.2±2.0 〔トルクターン〕 〔120±5°〕	90±20 9.2±2.0 〔トルクターン〕 〔120±5°〕	90±20 9.2±2.0 〔トルクターン〕 〔120±5°〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 〔駆動ポンプス トール時に発 信不可のこと〕	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 〔F2ハイアイアイ ドルで発進不可〕	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 〔F2ハイアイアイ ドルで発進不可〕	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 〔駆動ポンプス トール時に発 信不可のこと〕	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 〔F2ハイアイアイ ドルで発進不可〕
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	7.1 〔図 5〕	22.4 〔図 5〕	22.4 〔図 5〕	7.1 〔図 5〕	22.4 〔図 5〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	6.1 〔 〕	44.5 〔 〕	44.5 〔 〕	6.1 〔 〕	44.5 〔 〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	6.3 〔図 5〕	- 〔 〕	- 〔 〕	6.3 〔図 5〕	- 〔 〕
		リッパシャックシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕		-	-	-	-	-
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
	作業 機速度	バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		(作動油温)	(℃)	(38～65)	(38～49)	(38～49)	(38～65)	(38～49)
		ブル・ドーザ ブレード上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	3.0±0.7 〔図 8〕	〔 〕	〔 〕	3.0±0.7 〔図 8〕	〔 〕
		リッパ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.1±0.4 〔図 8〕	〔 〕	〔 〕	1.1±0.4 〔図 8〕	〔 〕
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		バケットチルトバック(又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		(作動油温)	(℃)	(38～65)			(38～65)	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	17225±350 175.8±3.6 (38～65)	17225±350 175.8±3.6 (38～49)	17225±350 175.8±3.6 (38～49)	17225±350 175.8±3.6 (38～65)	17225±350 175.8±3.6 (38～49)

D4C シリーズⅢ	D5C シリーズⅢ				D3G		D4G	
HST-LGP	DPS-STD	HST-STD	DPS-LGP	HST-LGP	HST-LGP	HST-XL	HST-LGP	HST-XL
6FS239～	9DL02569～	9AS00403～	7YL176-181 7YL183～	4WS328, 330, 4WS332～	CLB00001～	CKA00001～	FDC00001～	CFN00001～
検 査 基 準 値								
[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]	[図 2 参照]
9.2±2.0 90±20 [トルクターン 120±5°]	17.3±4.1 170±40 [トルクターン 120±5°]	17.3±4.1 170±40 [トルクターン 120±5°]	17.3±4.1 170±40 [トルクターン 120±5°]	17.3±4.1 170±40 [トルクターン 120±5°]	9.2±2.0 90±20 [トルクターン 180°]	9.2±2.0 90±20 [トルクターン 180°]	9.2±2.0 90±20 [トルクターン 180°]	9.2±2.0 90±20 [トルクターン 180°]
勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 [駆動ポンプス トール時に発 信不可のこと]	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 [F2ハイアイアイ ドルで発進不可]	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 [駆動ポンプス トール時に発 信不可のこと]	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 [F2ハイアイアイ ドルで発進不可]	勾配1/5で車両 静止状態で維持 出来ること。 [駆動ポンプス トール時に発 信不可のこと]				
7.1 [図 5]	22.4 [図 5]	7.1 [図 5]	22.4 [図 5]	7.1 [図 5]	7.1 [図 5 参照]	7.1 [図 5 参照]	7.1 [図 5 参照]	7.1 [図 5 参照]
6.1 []	44.5 []	6.1 []	44.5 []	6.1 []	6.1 [図 5 参照]	6.1 [図 5 参照]	6.1 [図 5 参照]	6.1 [図 5 参照]
6.3 [図 5]	- []	6.3 [図 5]	44.5 [図 5]	6.3 [図 5]	8.4 [図 5 参照]	8.4 [図 5 参照]	8.4 [図 5 参照]	8.4 [図 5 参照]
-	-	-	-	-	-	-	-	-
					-	-	-	-
(38～65)	(38～49)	(38～65)	(38～49)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)
3.0±0.7 [図 8]	[]	3.0±0.7 [図 8]	[]	3.0±0.7 [図 8]	2.2±0.3 [図 8 参照]	2.2±0.3 [図 8 参照]	2.2±0.3 [図 8 参照]	2.2±0.3 [図 8 参照]
1.1±0.4 [図 8]	[]	1.1±0.4 [図 8]	[]	1.1±0.4 [図 8]	1.2±0.2 [図 8 参照]	1.2±0.2 [図 8 参照]	1.2±0.2 [図 8 参照]	1.2±0.2 [図 8 参照]
					-	-	-	-
(38～65)	(38～49)	(38～65)	(38～49)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)	(38～65)
181.4±7.1 17775±700 (38～49)	175.8±3.6 17225±350 (38～49)	181.4±7.1 17775±700 (38～49)	175.8±3.6 17225±350 (38～49)	181.4±7.1 17775±700 (38～49)	210±4 20600±350 (38～65)	210±4 20600±350 (38～65)	210±4 20600±350 (38～65)	210±4 20600±350 (38～65)

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D5G		D5M		D5N
		仕様		LPG	XL	DPS-LGP	DPS-XL	PS-LGP
		適用号機		CLW00001~	CLF00001~	7LR00001~		CFH00001~
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	2550±45	2550±45	2125±50		
		ハイアイドルリング	min^{-1}	750±25	750±25	850±30		
		ローアイドルリング	min^{-1}	—	—	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	($^{\circ}\text{C}$)	70以上	70以上	(80~90)		
		(作動油温)	($^{\circ}\text{C}$)	70以上	70以上	(85±5)		
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa	196~392	196~392	3.4		200~600
		(油温)	kg/cm^2	2~4	2~4	330		2.0~6.1
	弁すき間	(回転速度)	($^{\circ}\text{C}$)	60~70	60~70	90~100		115以下
		(回 転 速 度)	(min^{-1})	1500	1500	2000		1900
		弁すき間						
燃料装置	燃 料 装 置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa	18142~19123	18142~19123	31000		28000
			kg/cm^2	185~195	185~195	316		286
	冷 却 装 置	ファン駆動ベルトの張り	mm	12	12	特殊ゲージ使用		
		測定位置・条件 (kgとNの両方で 表記)	[N] [kg]	[プーリ間]	[プーリ間]	[プーリ間] 400 40.8		
動力伝達装置	クラッチ又は インテグ ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—	100±20		
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—	10±5		
		ペダルの全ストローク	cm	—	—	95±10		
	走行クラッチ・トランスミッション油圧	主クラッチ型	ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	KPa	—	—		
		流体継ぎ 手型	トルコン油圧	KPa	—	—		500±70
				kg/cm^2	—	—		5.1±0.7
			ミッション潤滑油圧	KPa	—	220±50		260±30
				kg/cm^2	—	2.2±0.2		2.7±0.3
		クラッチ油圧	KPa	—	—	3100±150		3100±150
			kg/cm^2	—	—	31.6±1.5		31.6±1.5
	プロペラシャフト	(ミッション油温)	($^{\circ}\text{C}$)	—	—	75±5		75±5
		(エンジン回転速度)	(min^{-1})	—	—	2125±30		2180±30
ステアリング装置	レバ ー	ボルトル締付けトルク	N・m	—	—	105±20		60±12
		レバー遊びのストローク	kgm	—	—	10.7±2.0		6.1±1.2
	ステアリング装置	レバーの全ストローク	cm	—	—	1.3±5		
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチダ油圧	cm	—	—	3.5±5		
		(油 温)	KPa	—	—	2240±150		2240±150
		(回 転 速 度)	kg/cm^2	—	—	22.8±1.5		22.8±1.5
			($^{\circ}\text{C}$)	—	—	75±5		75±5
			(min^{-1})	—	—	—		2180±30

D5N	D6M		D6N				D6R	
PS-XL	PS-LGP	PS-XL	PS-LGP	PS-XL	DS-LGP	DS-XL	PS-LGP	PS-XR
CKT00001~	4HS00001~	5NR00001~	CCG00001~	CBF00001~	CCS00001~	CBL00001~	7AR00001~	6HR00001~
	2315±50 850±30 1930±65 (80~90) (85±5)	2315±50 850±30 1930±65 (80~90) (85±5)					2100±50 800±30 1667±65 (80~90) (85±5)	2080±50 800±30 1631±65 (80~90) (85±5)
200~600 2.0~6.1 115 以下 1900	350 3.6 (90~100) (2200)	350 3.6 (90~100) (2200)	200~600 2.0~6.1 115 以下 1900	200~600 2.0~6.1 115 以下 1900	200~600 2.0~6.1 115 以下 1900	200~600 2.0~6.1 115 以下 1900	380 3.9 (90~100) (1900)	380 3.9 (90~100) (1900)
0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]
	2750 28 (-)	2750 28 (-)					2350 24 (-)	2350 24 (-)
28000 286	31000 316	31000 316	28000 286	28000 286	28000 286	28000 286	15200 155	15200 155
	特殊ゲージ使用 「プーリ間」 400 40.8	特殊ゲージ使用 「プーリ間」 400 40.8					特殊ゲージ使用 「プーリ間」 400 40.8	特殊ゲージ使用 「プーリ間」 400 40.8
500±70 5.1±0.7	470±70 4.8±0.7	470±70 4.8±0.7	540±70 5.5±0.7	540±70 5.5±0.7	540±70 5.5±0.7	540±70 5.5±0.7	520±70 5.3±0.7	520±70 5.3±0.7
260±30 2.7±0.3	200±30 2.0±0.3	200±30 2.0±0.3	260±30 2.7±0.3	260±30 2.7±0.3	260±30 2.7±0.3	260±30 2.7±0.3	255±55 2.6±0.5	255±55 2.6±0.5
3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5	3100±150 31.6±1.5
75±5 2180±30	2340±30 75±5	2340±30 75±5	75±5 2200±30	75±5 2200±30	75±5 2200±30	75±5 2200±30	2100±30 80±5	2100±30 80±5
60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	60±12 6.1±1.2	50±10 5.1±1.0	50±10 5.1±1.0
	13±5 35±5	13±5 35±5					13±5 35±5	13±5 35±5
2240±150 22.8±1.5 75±5 2180±30	2240±150 22.8±1.5 75±5	2240±150 22.8±1.5 75±5	2700 以上 27.5 以上 75±5 2200±30	2700 以上 27.5 以上 75±5 2200±30	2700 以上 27.5 以上 75±5 2200±30	2700 以上 27.5 以上 75±5 2200±30	2240±150 22.8±1.5 80±5	2240±150 22.8±1.5 80±5

新キャタピラー三菱 (S C M)

適用範囲		モデル名		D5G		D5M		D5N
		仕様		LPG	XL	DPS-LGP	DPS-XL	PS-LGP
		適用号機		CLW00001～	CLF00001～	7LR00001～		CFH00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm	〔図 2 参照〕	〔図 2 参照〕	35±6 〔図 3 参照〕		100±10
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m	163±40 16.6±4.1 〔トルクターン 180°〕	163±40 16.6±4.1 〔トルクターン 180°〕	170±40 17.3±4.1 〔トルクターン 120°〕		400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上			ブレーキトルク 1000kg・f・m 〔車両と同等のけん 引力にてスプロ ケットが回転 しないこと。〕		
作業装置	シリンダ 自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	7.1 〔図 5 参照〕	7.1 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕		32 以内 〔図 5 参照〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	6.1 〔図 5 参照〕	6.1 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕		13 以内 〔図 5 参照〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分	8.4 〔図 5 参照〕	8.4 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕		25 以内 〔図 5 参照〕
		リッパシャックシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕						
	ドーザ・ ショベル	リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
		バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm	—	—			—
	(作動油温)		(℃)	38～65	38～65			38～49
	作業速度	ブル・ドーザ ブレード上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	2.2±0.3 〔図 8 参照〕	2.2±0.3 〔図 8 参照〕	2.5 以内 〔図 8 参照〕		2.52±0.3 〔図 8 参照〕
		リッパ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	1.2±0.2 〔図 8 参照〕	1.2±0.2 〔図 8 参照〕			2.4±0.2 〔図 8 参照〕
	機速	ドーザ・ ショベル リフトアームシリンダ上げ (又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		バケットチルトバック (又はダンプ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec	—	—			—
(作動油温)		(℃)	38～65	38～65			65±3	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 (作動油温)	KPa kg/cm ² (℃)	20600±350 210±4 38～65	20600±350 210±4 38～65			

D5N	D6M		D6N				D6R	
PS-XL	PS-LGP	PS-XL	PS-LGP	PS-XL	DS-LGP	DS-XL	PS-LGP	PS-XR
CKT00001~			CCG00001~	CBF00001~	CCS00001~	CBL00001~	7AR00001~	6HR00001~
検 査 基 準 値								
100±10	55±10 〔図 3 参照〕	55±10 〔図 3 参照〕	100±10	100±10	100±10	100±10	55±10 〔図 3 参照〕	100±10 〔図 3 参照〕
400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン 120°〕
	ブレイキトルク 1000kg・f・m 〔車両と同等のけん 引力にてスプ ロケットが回転 しないこと。〕	ブレイキトルク 755kg・f・m 〔車両と同等のけん 引力にてスプ ロケットが回転 しないこと。〕					ブレイキトルク 1258kg・f・m 〔車両と同等のけん 引力にてスプ ロケットが回転 しないこと。〕	ブレイキトルク 1258kg・f・m 〔車両と同等のけん 引力にてスプ ロケットが回転 しないこと。〕
32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	32 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕	38 以内 〔図 5 参照〕
13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	13 以内 〔図 5 参照〕	11 以内 〔図 5 参照〕	11 以内 〔図 5 参照〕
25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	25 以内 〔図 5 参照〕	10 以内 〔図 5 参照〕	10 以内 〔図 5 参照〕
—			—	—	—	—		
38~49		38±10	38~49	38~49	38~49	38~49	38±10	38±10
2.52±0.3 〔図 8 参照〕	2.7 以内 〔図 8 参照〕	2.7 以内 〔図 8 参照〕	2.64±0.3 〔図 8 参照〕	2.64±0.3 〔図 8 参照〕	2.64±0.3 〔図 8 参照〕	2.64±0.3 〔図 8 参照〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕	4.3 以内 〔図 8 参照〕
2.4±0.2 〔図 8 参照〕			1.46±0.2 〔図 8 参照〕	1.46±0.2 〔図 8 参照〕	1.46±0.2 〔図 8 参照〕	1.46±0.2 〔図 8 参照〕	2.8 以内 〔図 8 参照〕	2.8 以内 〔図 8 参照〕
—			—	—	—	—		
65±3	38~65	65±3					38~65	38~65
	24800 253.0±3.6 102° 未満	24800 253.0±3.6 102° 未満					18800~19800 192~202 102° 未満	18800~19800 192~202 102° 未満

新キャタピラー三菱 (SCM)

適用範囲		モデル名		D6R			D6R II	
		仕様		DS-LGP	DS-XL	DPS-LGP	PS-LGP	PS-XL
		適用号機		4TR00001～	7DR00001～	6GR00001～	BPP00001～	BPS00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度	min^{-1}	2100±50	2080±50	2380±50		
		ハイアイドリング	min^{-1}	800±30	800±30	800±30		
		ローアイドリング	min^{-1}	1667±65	1631±65	—		
		トルコンストール状態 (冷却水温)	($^{\circ}\text{C}$)	(80～90)	(80～90)	(80～90)		
		(作動油温)	($^{\circ}\text{C}$)	(85±5)	(85±5)	(85±5)		
	エンジン油圧	エンジン油圧	KPa	380	380	380	275～414	275～414
		(油温)	kg/cm^2	3.9	3.9	3.9	2.8～4.2	2.8～4.2
		(回転速度)	($^{\circ}\text{C}$)	90～100	90～100	90～100	100	100
	弁すき間	(回転速度)	(min^{-1})	1900	1900	1900	1800	1800
		弁すき間	mm	0.38	0.38	0.38	0.32	0.32
		吸気弁すき間	mm	0.64	0.64	0.64	0.64	0.64
動力伝達装置	燃料装置	排気弁すき間 [測定条件]	[]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]	[冷時]
		圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	KPa	2350	2350	2350		
		(冷却水温)	kg/cm^2	24	24	24		
	冷却装置	(回転速度)	($^{\circ}\text{C}$)	(—)	(—)	(—)		
		(回転速度)	(min^{-1})	(215)	(215)	(215)		
		噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa	15200	15200	15200	162000	162000
	燃料装置	燃料噴射開始圧力	kg/cm^2	155	155	155	165	165
		ファン駆動ベルトの張り	mm	特殊ゲージ使用	特殊ゲージ使用	特殊ゲージ使用		
		測定位置・条件	[kg と N の両方で 表記]	[プーリ間 400 40.8]	[プーリ間 400 40.8]	[プーリ間 400 40.8]		
			[]					
ステアリング装置	クラッチ又は インチング ペダル	ペダル取り付け高さ	cm	—	—	130±20		
		ペダルの遊びのストローク	cm	—	—	10±5		
		ペダルの全ストローク	cm	—	—	95±10		
	走行クラッチ・トランスミッション油圧	主クラッチ型	KPa					
		ブースタ油圧又は クラッチシリンダ油圧	kg/cm^2					
		トルコン油圧	KPa	290±55	—		430±50	430±50
			kg/cm^2	3.0±0.5			4.4±0.5	4.4±0.5
	クラッチ油圧	ミッション潤滑油圧	KPa	290±55	255±55	255±55	165±50	165±50
			kg/cm^2	3.0±0.5	0.6±0.5	0.6±0.5	1.72±0.5	1.72±0.5
		クラッチ油圧	KPa	3100±150	3100±150	3100±150	2965±170	2965±170
	(ミッション油温) (エンジン回転速度)		kg/cm^2	31.6±1.5	31.6±1.5	31.6±1.5	30.2±1.7	30.2±1.7
		(ミッション油温)	($^{\circ}\text{C}$)	2100±30	2080±30	2320±30	80±5	80±5
		(エンジン回転速度)	(min^{-1})	80±50	80±5	75±5	1735±45	1735±45
ステアリング装置	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m	50±10	50±10	240±40	55±10	55±10
			kgm	5.1±1.0	5.1±1.0	24.5±4.1	5.6±1.0	5.6±1.0
	レバ	レバー遊びのストローク	cm	20±5	20±5	13±5		
ステアリング装置	レバ	レバーの全ストローク	cm	85±5	85±5	85±5		
		ステアリングクラッチ油圧又は ステアリングクラッチ油圧	KPa			2240±150		
	ステアリング装置	(油温)	kg/cm^2			22.8±1.5		
		(回転速度)	($^{\circ}\text{C}$)			(75±5)		
	ステアリング装置	(回転速度)	(min^{-1})					

D6R II								
DS-LGP	DS-XL	DPS-LGP						
BPZ00001～	BRZ00001～	AFD00001～						
275～414 2.8～4.2 100 1800	275～414 2.8～4.2 100 1800	275～414 2.8～4.2 100 1800						
0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]	0.38 0.64 [冷時]						
162000 165	162000 165	162000 165						
360±50 3.7±0.5	430±50 4.4±0.5	430±50 4.4±0.5						
165±50 1.6±0.5	165±50 1.72±0.5	165±50 1.72±0.5						
3035±140 30.9±1.4	2965±170 30.2±1.7	2965±170 30.2±1.7						
80±5 1560±45	80±5 1735±45	80±5 1735±45						
55±10 5.6±1.0	55±10 5.6±1.0	55±10 5.6±1.0						

新キャタピラー三菱 (S CM)

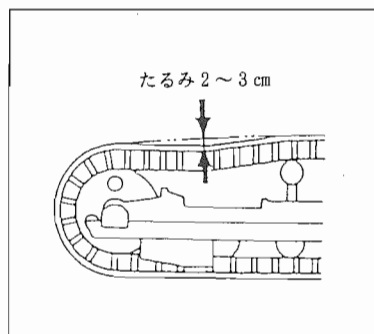
適用範囲		モデル名		D6R			D6R II	
		仕様		DS-LGP	DS-XL	DPS-LGP	PS-LGP	PS-XL
		適用号機		4TR00001～	7DR00001～	6GR00001～	BPP00001～	BPS00001～
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	ゴム 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		鉄 張り (たわみ量) 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		シ リンクピッチの伸び 〔測定方法・条件〕 〔図面番号表示〕	mm					
		ユ 履板取付けボルト 締付けトルク 〔測定方法・条件〕	N・m kg・m				120° 40.8±7.1 〔400±70〕 トルクターン	120° 40.8±7.1 〔400±70〕 トルクターン
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力 〔測定方法・条件〕	床面勾配 1/5 以上					
作業装置	シリンダ自然伸縮	ブル・ドーザ ブレードリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分				38 〔図 5 参照〕	38 〔図 5 参照〕
		ブレードチルトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分				11.2 〔図 5 参照〕	11.2 〔図 5 参照〕
		リッパリフトシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm/5分				9.6 〔図 5 参照〕	9.6 〔図 5 参照〕
		リッパシヤンクシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕						
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm					
	作業速度	バケットシリンダ 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	mm				—	—
		(作動油温)	(℃)				28～48	28～48
		ブル・ドーザ ブレード上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec				2.5 以内 〔図 8 参照〕	2.5 以内 〔図 8 参照〕
		リッパ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec				1.8 以内 〔図 8 参照〕	1.8 以内 〔図 8 参照〕
		ドーザ・ショベル リフトアームシリンダ上げ(又は下げ) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec				—	—
油圧装置	油圧回路設定圧力	バケットチルトバック(又はダンピング) 〔作業装置姿勢〕 〔図面番号表示〕	sec					
		(作動油温)	(℃)				65±5	65±5
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	KPa kg/cm ²					
		(作動油温)	(℃)					

D6R II								
DS-LGP	DS-XL	DPS-LGP						
BPZ00001～	BRZ00001～	AFD00001～						
検 査 基 準 値								
115±10	115±10	115±10						
400±70 40.8±7.1 〔トルクターン〕 120°	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン〕 120°	400±70 40.8±7.1 〔トルクターン〕 120°						
38 〔図 5 参照〕 11.2 〔図 5 参照〕 9.6 〔図 5 参照〕	38 〔図 5 参照〕 11.2 〔図 5 参照〕 9.6 〔図 5 参照〕	38 〔図 5 参照〕 11.2 〔図 5 参照〕 9.6 〔図 5 参照〕						
—	—	—						
28～48	28～48	28～48						
2.5 以内 図 8 参照 1.8 以内 図 8 参照	2.5 以内 図 8 参照 1.8 以内 図 8 参照	2.5 以内 図 8 参照 1.8 以内 図 8 参照						
65±3	65±3	65±3						

新キャタピラー三菱 (SCM)

図 1. BD2J II, BS3J II 履帯の張り測定方法

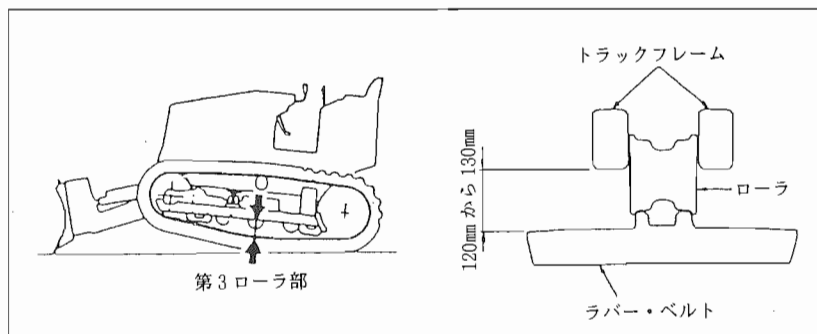
●トラックの張り点検



トラックのたるみをストレート・ゲージを使って測定し、適正值であるか点検する。

たるみ量 2~3cm

●ラバー・ベルトの張り測定



注意

測定は、平坦な所で実施してください。

図 2. D3C III, D4C III, D5C III および D3G, D4G, D5G 履帯調整方法

1. 車両をその全長の 2 倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。
2. ハイドロリック・トラック・アジャスタを使用して、トラックが一杯に張るまでフロント・アイドラを前方に移動させる。アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面と同じ位置に、トラックローラフレームにマーク (B) を付ける。(図 a 参照)
3. トラックローラフレームのマーク (B) の後方 10mm にマーク (C) を付ける。
4. リリーフバルブを開き、アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面がマーク (C) の後方になるまでアイドラを移動させる。(図 b 参照)
5. ハイドロリック・トラック・アジャスタを使用し、アイドラ・ベアリング・アセンブリの前面がトラックローラフレームのマーク (C) と同じ位置になるまで、アイドラを前方に再移動させる。(図 c 参照)

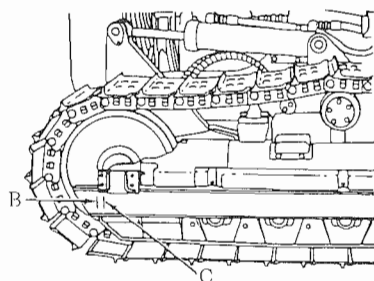


図 a

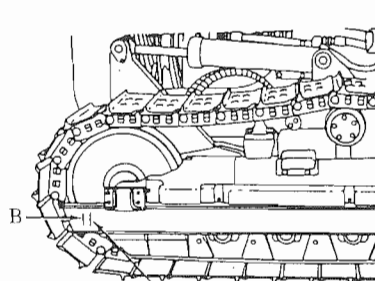


図 b

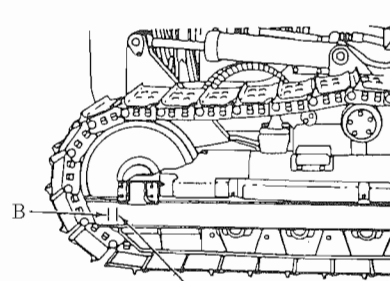


図 c

図 3. D5M, D6M, D5N, D6N 履帯の張り測定方法

トラックを前進から停止させた後、フロントアイドラ及びファイナルドライブのスプロケット間のトラックのたるみを、下記の様に測定すること。また、下記に示す値になるようにリコイルメカニズムを調整すること。

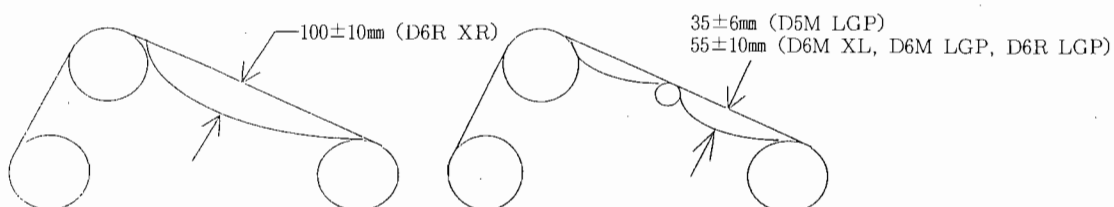
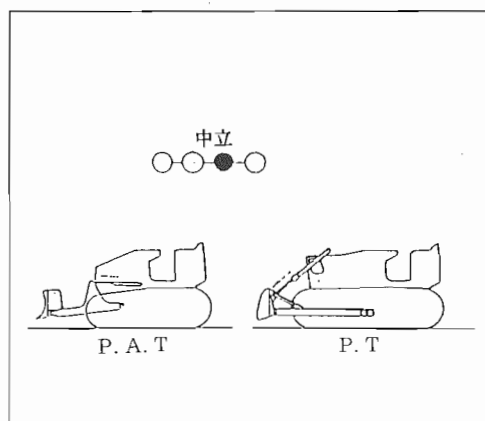


図 4. BD2JIII シリンダの自然伸縮測定方法

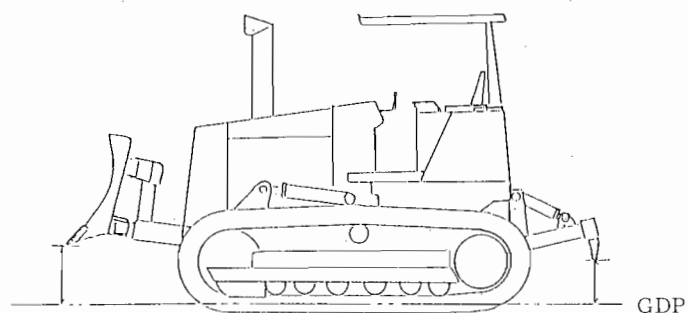
(BD2JIII - PAT・PT)



ブレードを上げてフレーム部を地面と水平にし、コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で5mm 以内、油温 30～40℃

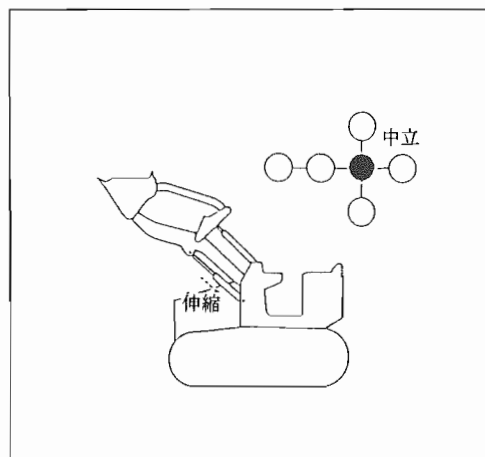
図 5. D3CIII, D4CIII, D5CIII, D3G, D4G, D5G 及び D5M, D6M, D5N, D6N, D6R シリンダの自然伸縮測定方法



作業装置を、上げ最大位置 (D3CIII, D4CIII, D5CIII, D3G, D4G, D5G) 又は、地面から 300±100mm (D5M, D6M, D5N, D6N, D6R) に作動後、エンジンを停止し、5 分間の降下量を測定する。

図 6. BS3JIII シリンダの自然伸縮測定方法

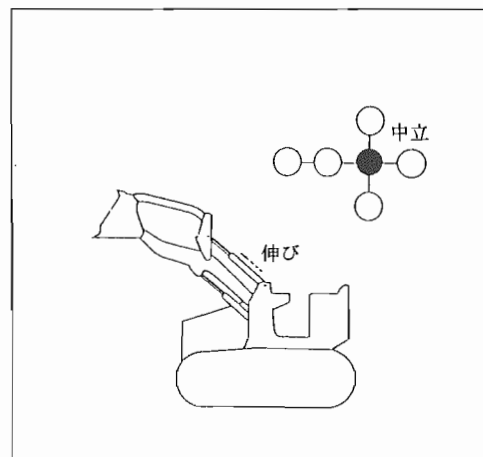
A. リフト・シリンダ



バケットを一杯に上げ、コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で5mm 以内、油温 30～40℃

B. ダンプ・シリンダ



バケットを一杯に上げ、バケットのカッチング・エッジが地面と水平になるようにする。コントロール・レバーを「中立」にして、エンジンを停止する。

ロッドの伸び量が5分間で7mm 以内、油温 30～40℃

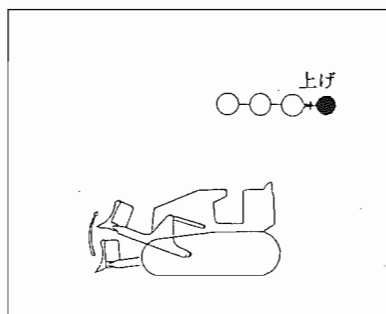
新キャタピラー三菱 (S CM)

図 7. BD2JIII 作業機速度測定方法

エンジン回転速度をアイドルリング
(約 850min^{-1}) にする。

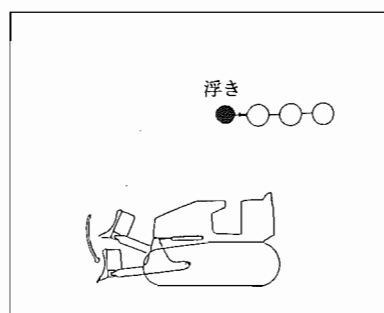
A. リフト・シリンダ (BD2J-PAT)

試験 1



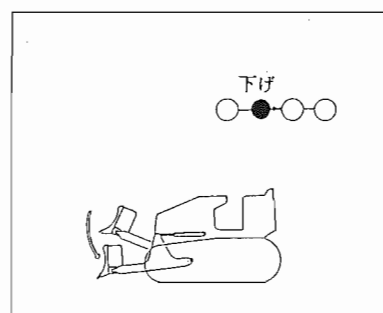
リフト回路速度試験-1	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げるに要する時間 (垂直距離約 900mm)	4.0 秒

試験 2



リフト回路速度試験-2	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げておき、コントロール・レバーを(浮き)にしてブレードが地面まで降りるのに要する時間	0.8 秒

試験 3



リフト回路速度試験-3	作動時間
ブレードを地面から一杯の高さまで上げておき、コントロール・レバーを(下げ)にしてブレードが地面まで降りるのに要する時間	2.4 秒

図 8. D3CIII, D4CIII, D5CIII, D3G, D4G, D5G 及び D5M, D6M, D6R
作業機速度測定方法

リフト：リフトを下げ最大位置から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

リッパ：リッパを下げ最大位置から
上げ最大位置まで動かし、
時間を測定する。

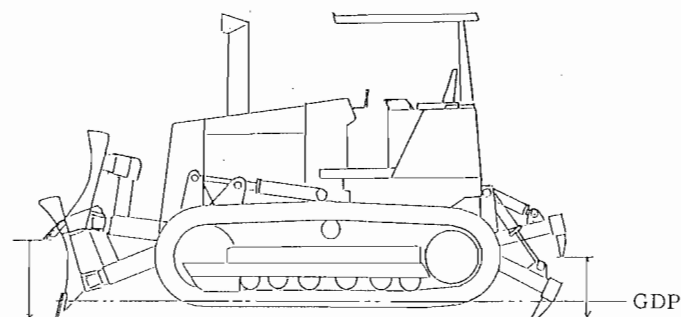
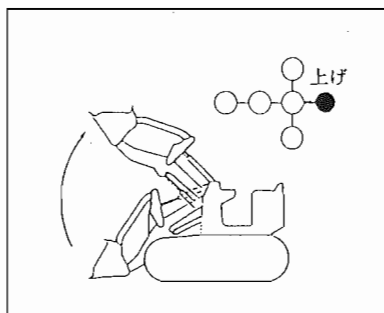


図 9. BS3JIII 作業機速度測定方法

A. リフト・シリンダ

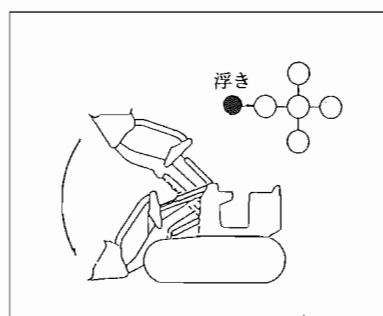
エンジン回転速度をアイドルリング
(約 850min^{-1}) にする。

試験 1



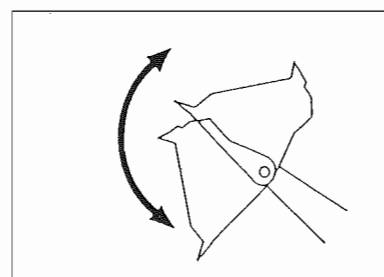
リフト回路速度試験-1	作動速度
空のバケットを地面から一杯の高さまで上げるに要する時間	15.7 秒

試験 2



リフト回路速度試験-2	作動速度
空のバケットを地面から一杯の高さに上げておき、コントロール・レバーを(浮き)にしてバケットが地面まで降りるのに要する時間	3.9 秒

B. ダンプ・シリンダ



リフト回路速度試験-1	作動速度
空のバケットを一杯にチルトした位置から一杯にダンプするのに要する時間 (リフト・シリンダは最大に伸ばしておく)	3.1 秒

リフト回路速度試験-2	作動速度
空のバケットを一杯にダンプした位置から一杯にチルトするのに要する時間	3.3 秒

日立建機

適用範囲		モデル名		DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM
		仕様		パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト
		適用号機		1078～	1898～	1001～	1898～	1002～
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値				
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)
		弁すき間 ・吸気弁すき間 ・排気弁すき間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3040 31 (200)	2940 30 (250)	3040 31 (200)	2940 30 (250)	3040 31 (200)
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²	18142 185	17162 175	18142 185	17162 175	18142 185
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm 〔 N 〕 〔 kg 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕
動力伝達装置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7	0.8～1.3 16.7
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油圧 (ハイアイドル)	(KPa) kg/cm ²					
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	(KPa) kg/cm ²					
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)					
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7
ステアリング装置	レバ	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20
		ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)

DX40MM-C	DX45	DX45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75	DX75M
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～	5006～	5022～	101～	101～
検 査 基 準 値								
2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2350±50 780～900	2350±50 820～920	2275±25 900±25	2275±25 900±25
294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	294～441 3～4.5 (70～90) (1400)	3.5 (高速回転)	3.5 (高速回転)
0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.4 0.4 〔冷間時〕	0.36 0.46	0.36 0.46
2940 30 (250)	3040 31 (200)	2940 30 (250)	3040 31 (200)	2940 30 (250)	3040 31 (200)	2940 30 (250)	最小 24.6	最小 24.6
17162 175	18142 185	17162 175	18142 185	17162 175	18142 185	17162 175		
8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	8～10 〔 10 〕	13 〔 6.8 〕	13 〔 6.8 〕
0.8～1.3 16.7	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13	0.5～1.0 13		
	(78～186) 0.8～1.9	(78～186) 0.8～1.9	(78～186) 0.8～1.9	(78～186) 0.8～1.9	(78～186) 0.8～1.9	(78～186) 0.8～1.9		
	1471±196 15±2	1471±196 15±2	1471±196 15±2	1471±196 15±2	1471±196 15±2	1471±196 15±2		
	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)		
29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7	29.4～36.3 3～3.7		
11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20	11 20		
1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)	1471±98 15±1 (40～60)		

日立建機

適用範囲		モデル名	DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM	
		仕様	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーチルト	
		適用号機	1078～	1898～	1001～	1898～	1002～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値				
走行装置	クローラベルト	〔ゴムベルト〕 ・張り（たわみ量） （測定方法・条件） 図番号	mm			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①
		〔鉄シュー〕 ・張り（たわみ量） （測定方法・条件） 図番号	mm	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②
		・リンクピッチの伸び （測定方法・条件） 図番号	mm	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③
		・履帯取付けボルト 締付けトルク （測定方法・条件）	N・m kgm	167±20 17±2	167±20 17±2	177～206 18～21	177～206 18～21	177～206 18～21
作業装置	シリンダ 自然伸縮	〔ブルドーザ〕 ・ブレードリフトシリンダ （作業装置姿勢） 図番号	mm	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④
		・ブレードチルトシリンダ （作業装置姿勢） 図番号	mm					
		（作動油温）	（℃）	（40～60）	（40～60）	（40～60）	（40～60）	（40～60）
	作業機速度	〔ブルドーザ〕 ・ブレード上げ（下げ） （作業装置姿勢） 図番号	sec	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤
		（作動油温）	（℃）	（40～60）	（40～60）	（40～60）	（40～60）	（40～60）
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力 （作動油温）	KPa kg/cm ² （℃）	16181±490 160～170 （40～60）	16181±490 160～170 （40～60）	16181±490 160～170 （40～60）	16181±490 160～170 （40～60）	16181±490 160～170 （40～60）

DX40MM-C	DX45	DX45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75	DX75M
排ガス機 パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	超湿地タイプ パワーアングル パワーチルト	排ガス機 パワーアングル パワーチルト	パワーアングル パワーチルト	湿地タイプ パワーアングル パワーチルト
5422～	5005～	1042～	5010～	1042～	5006～	5022～	101～	101～
検 査 基 準 値								
10～15 ①			10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①	10～15 ①		
20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	20～30 ②	38～51 ②	38～51 ②
135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	135 ③	159 ③	159 ③
177～206 18～21	167±20 17±2	167±20 17±2	177～206 18～21	177～206 18～21	177～206 18～21	177～206 18～21		
20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	20mm/5分 ④	7mm/分 ④	7mm/分 ④
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40±6)	(40±6)
1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	1.1～1.7 ⑤	2.3 ⑤	2.3 ⑤
(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(40～60)	(66±6)	(66±6)
16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	16181±490 160～170 (40～60)	190±14 (66±6)	190±14 (66±6)

日立建機

適用範囲		モデル名	DX75L				
		仕様	パワーアングル パワーチルト				
		適用号機	101～				
区分	検査箇所	検査項目(条件)	単位	検査基準値			
ディーゼルエンジン	エンジン本体	エンジン回転速度 ・ハイアイドルリング ・ローアイドルリング ・トルコンストール状態 (冷却水温) (作動油温)	min ⁻¹ min ⁻¹ min ⁻¹ (℃) (℃)	2275±25 900±25			
		エンジン油圧 (油温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	3.5 (高速回転)			
		弁すき間 ・吸気弁すき間 ・排気弁すき間 〔測定条件〕	mm mm 〔 〕	0.36 0.46			
		圧縮圧力 (冷却水温) (回転速度)	KPa kg/cm ² (℃) (min ⁻¹)	最小 24.6			
	燃料装置	噴射ノズルの 燃料噴射開始圧力	KPa kg/cm ²				
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り 〔測定位置・条件〕	mm N kg	13mm 〔 6.8kg〕			
動力伝達装置	クラッチ又は インチングペダル	ペダル取付け高さ ペダル遊びのストローク ペダル全ストローク	cm cm cm				
	走行クラッチ・ トランスミッ ション油圧	〔流体継ぎ手型〕 ミッション潤滑油圧 (ハイアイドル)	(KPa) kg/cm ²				
		クラッチ油圧 (ハイアイドル)	(KPa) kg/cm ²				
		(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)				
	プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kgm				
ステアリング装置	レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	cm cm				
		ステアリングブースタ油圧又は ステアリングクラッチ油圧 (油温)	KPa kg/cm ² (℃)				

適用範囲		モデル名	DX75L				
		仕様	パワーアングル パワーチルト				
		適用号機	101～				
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値			
走行装置	クローラベルト	[ゴムベルト] ・張り (たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm				
		[鉄シュー] ・張り (たわみ量) (測定方法・条件) 図番号	mm	38～51 ②			
		・リンクピッチの伸び (測定方法・条件) 図番号	mm	159 ③			
		・履帯取付けボルト 締付けトルク (測定方法・条件)	mm				
作業装置	シリンダ 自然伸縮	[ブルドーザ] ・ブレードリフトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm	7mm/分 ④			
		・ブレードチルトシリンダ (作業装置姿勢) 図番号	mm				
		(作動油温)	(℃)	(40±6)			
	作業機速度	[ブルドーザ] ・ブレード上げ (下げ) (作業装置姿勢) 図番号	sec	2.3 ⑤			
		(作動油温)	(℃)	(66±6)			
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力	KPa	190±14			
		(作動油温)	kg/cm ² (℃)	(66±6)			

モデル名	DX40	DX40-C	DX40M	DX40M-C	DX40MM
------	------	--------	-------	---------	--------

①

■ ゴムクローラ（オプション）の張りの点検・調整

ゴムクローラは、作業条件や土質により、摩耗状態が異なりますので、随時摩耗状態および張り具合を点検してください。

とくに、新品装着時は、使用後初回 10 時間目で再調整し、以後 30 時間ごとに点検・調整してください。

● 点 検

▲ 警 告

点検の際は二人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。

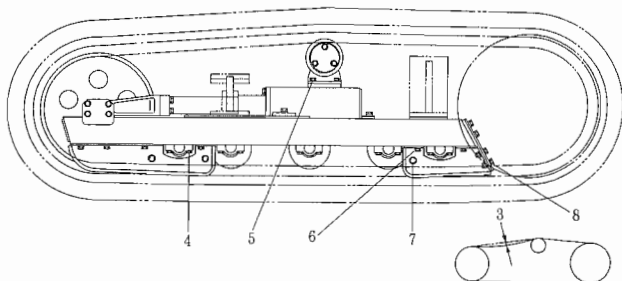
とくに測定中は絶対に動かさないでください。

履帯の張りの点検は車体を上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

重 要

- ・摩耗などにより、継目部の確認ができないときは、調整後、1/4 回転させてもう一度点検してください。
- ・ゴムクローラがゆるんだ状態で作業すると脱輪や芯金部の早期摩耗の原因になります。

② アンダキャリッジ

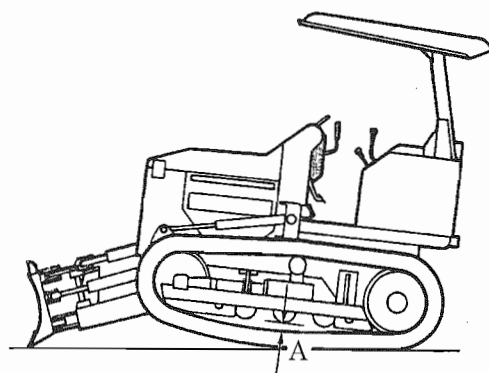
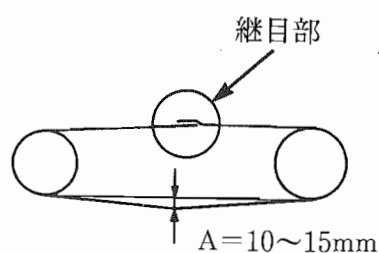


1. ゴムクローラ継目部（△印または∞印）を車軸間の上部中央にくるようにします。

継目位置をまちがうと適正張り具合よりたるみが多くなり、再調整が必要となります。

2. ブレードで車体を上げ、中央のトラックローラの外周端とクローラのローラ転動面とのスキマ（A）が 10～15mm あれば標準です。

25mm 以上になっていたら、張りの調整が必要です。



No.	項 目	基準値	使用 限度	備 考
3	トラックのゆるみ量	20～ 30mm	—	※車両を平地で 7m 以上の距離を低速前進 走行させ、ブレーキをかけ ずに自然に停止した状態で 測定する。

DX40MM-C	DX45	DC45-C	DX45M	DX45M-C	DX45MM	DX45MM-C	DX75 系	
----------	------	--------	-------	---------	--------	----------	--------	--

③

トラックリンク

No.	項 目	基 準 値	使用限度	備 考
1	リンクピッチ	135mm	137.5mm	

乾地履帯

ハイドロリック仕様 (PAT)

④

ブレード自然降下量

- 油温 40～60 ℃
- ブレードを地上より 400mm 上げる。
- コントロールレバーを「中立」位置にし、エンジン停止する。
- 5 分後のリフトシリンダのロッドの伸び量。

20mm/5 分

⑤

ブレード上昇時間

- 油温 40～60 ℃
- エンジン最高回転 (2300～2400min⁻¹)
- コントロールレバーを「上昇」位置にしてブレードを地上から最高位置まで上げるのに要する時間。

1.4 秒

ブレード下降時間

- 油温 40～60 ℃
- エンジン最高回転 (2300～2400min⁻¹)
- コントロールレバーを「下降」位置にしてブレードを最高位置から地上まで下げるのに要する時間。

1.3 秒

ブル・ドーザー検査・整備基準値表

平成10年 9 月	初版発行
平成16年 3 月	改訂A版発行
平成18年11月	改訂A版1刷発行

発行 社団法人 建設荷役車両安全技術協会

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号
(ニュー九段ビル9階)

電 話 03-3221-3661

FAX 03-3221-3665

URL <http://www.sacl.or.jp>

禁無断転載

印刷 (株)東京技術協会 (10)